

---

## IV 第三群調査（高校生意識調査）

---

## 1. 結婚意欲と子どもを持つことに対する希望

### (1) 結婚意欲

#### (高校生はライフコースと結婚を比較考量する)

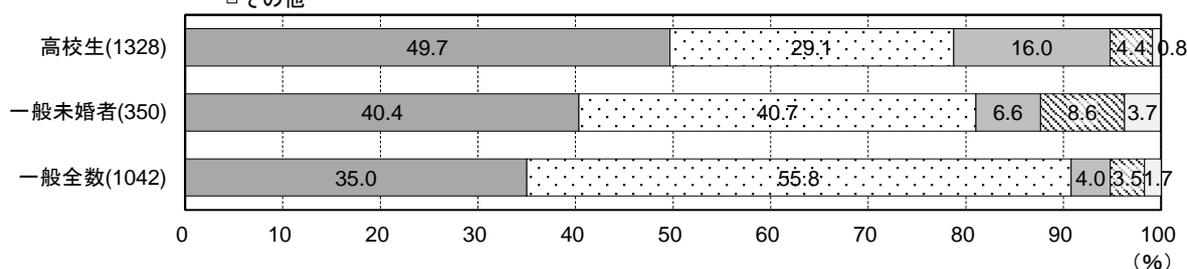
高校生の結婚についての考え方は、「ある程度の年齢までに結婚したい」という年齢志向が男子50%、女子56%であり、男女とも一般未婚者と一般調査の全数集計を上回る(図IV-1)。

一般調査とは選択肢の表現がやや異なるものの、「相手が見つかったら、仕事や自分の生き方と両立できないなら、すぐに結婚したいと思わない」が男子16%、女子13%であり、一般未婚者と一般全数集計の3倍程度になっている。結婚の考え方に関する高校生の特徴は、20-49歳を対象とした一般調査と比較して、結婚意欲の強い者と、ライフコースの実現志向が強く、結婚とライフコースとを比較考量する者が多くなっている。

図IV-1 結婚についての考え(単数)

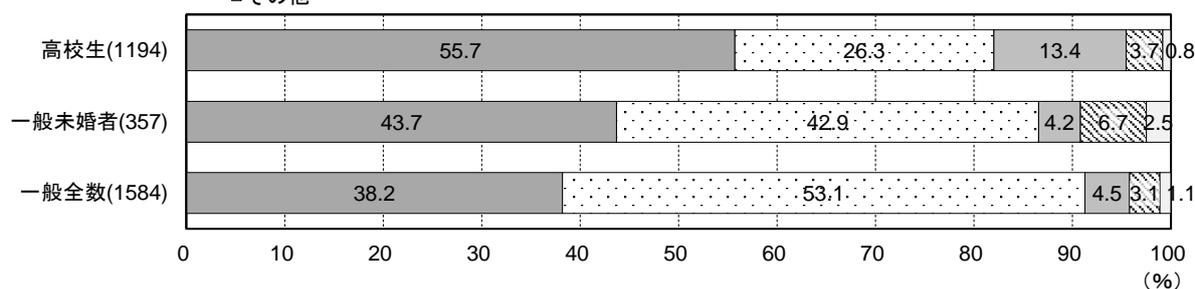
#### (男性)

- ある程度の年齢までに結婚したい
- 年齢に関係なく、結婚したいと思う相手が見つければ結婚したい
- ▨ 相手が見つかったら、仕事や自分の生き方と両立できないなら、すぐに結婚したいと思わない
- ▩ 一生、結婚したいと思わない
- その他



#### (女性)

- ある程度の年齢までに結婚したい
- 年齢に関係なく、結婚したいと思う相手が見つければ結婚したい
- ▨ 相手が見つかったら、仕事や自分の生き方と両立できないなら、すぐに結婚したいと思わない
- ▩ 一生、結婚したいと思わない
- その他



(注) 1. それぞれ、県民局別の県立高校生数(二年生・三年生)、20-49歳未婚者人口、20-49歳人口によるウエイトバック集計である

2. 「相手が見つかったら、仕事や自分の生き方と両立できないなら、すぐに結婚したいと思わない」は、一般調査では「相手が見つかったら、当分結婚するつもりはない(なかった)」と表現されている

## (2) 理想の結婚年齢

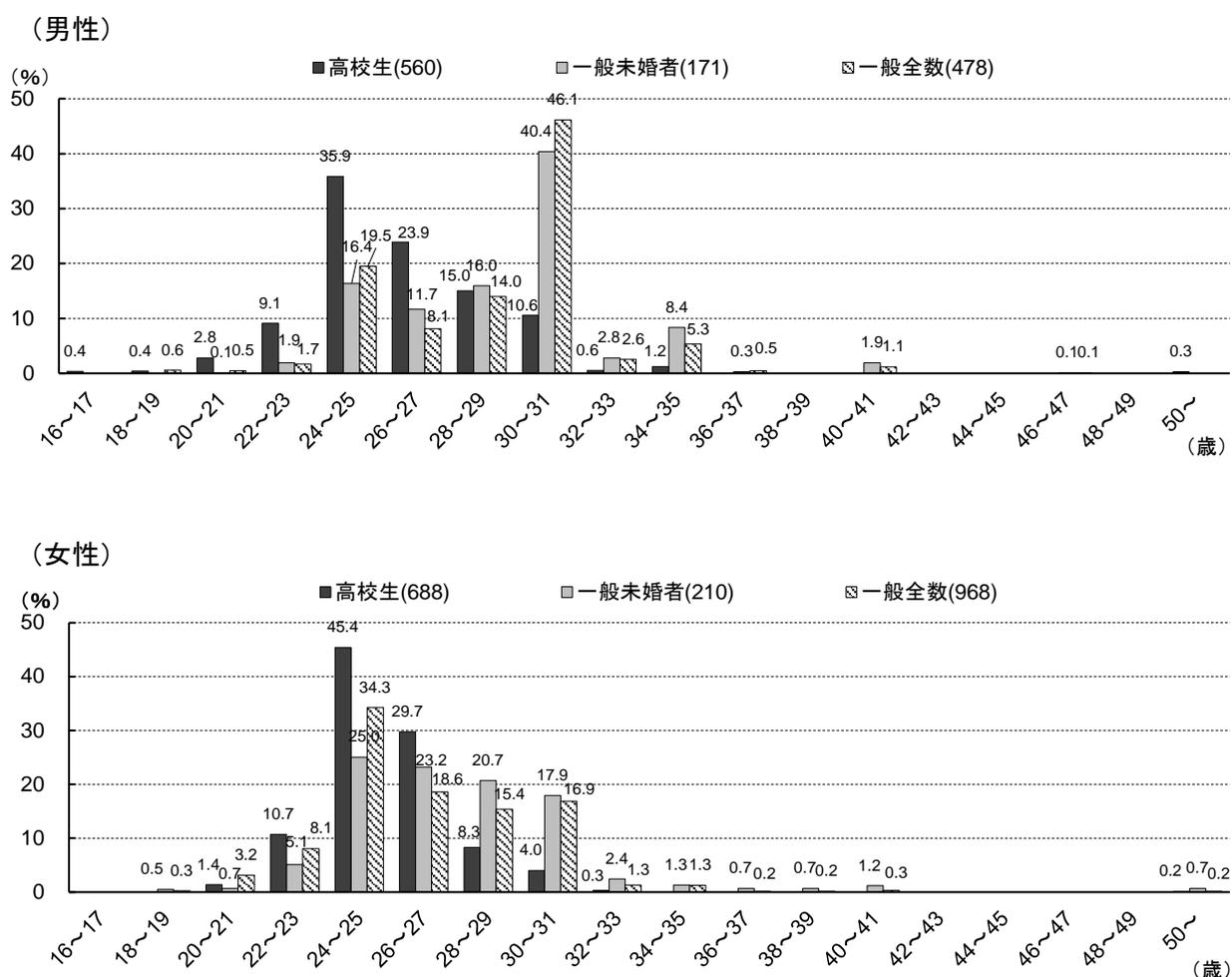
### (高校生男子には二つのピークがみられない)

高校生の理想の結婚年齢の分布は一般未婚者や一般全数と明らかに異なる。一般未婚者と一般全数の男性では 24-25 歳と 30-31 歳の二つのピークがみられるのに対して、高校生男子では 24-25 歳が最頻値となって年齢が高くなるにつれて緩やかに回答者が減っていく (図IV-2)。

一方、高校生女子と一般調査と比較すると、24-25 歳が最頻値であることは同じであるものの、高校生は 24-25 歳と 26-27 歳で 75% を占める。

高校生の理想の結婚年齢の平均値を求めると、男子 26.1 歳、女子 25.6 歳と算出された。男子と女子の差が小さいことが高校生の特徴であり、これは主に男子の理想年齢が若いことによる。

図IV-2 理想の結婚年齢 (結婚年齢に理想がある者、数量)



(注) それぞれ、県民局別の県立高校生数 (二年生・三年生)、20-49 歳未婚者人口、20-49 歳人口によるウェイトバック集計である

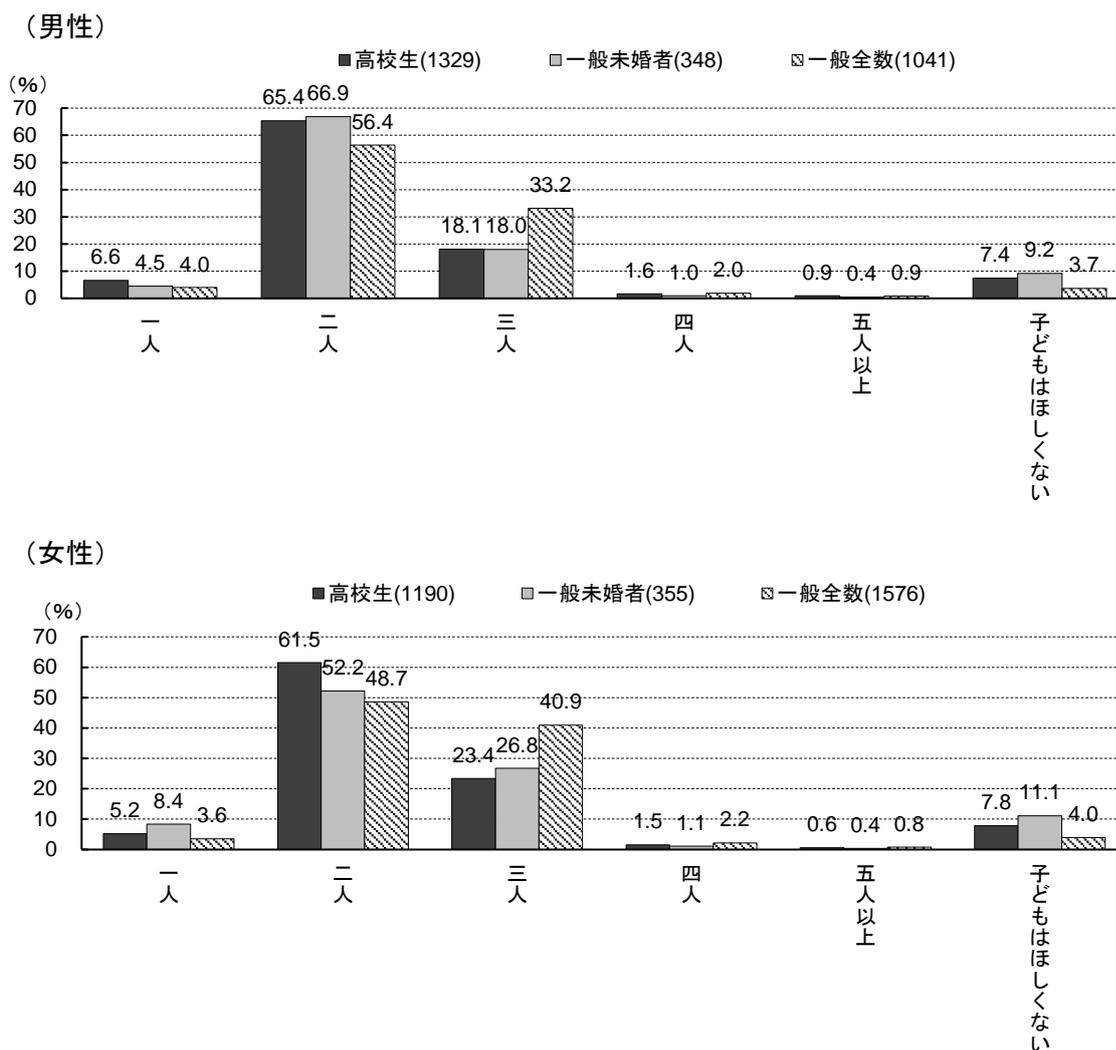
### (3) 理想の子ども数

(高校生は一般調査に比べ理想の子ども数が少ない)

高校生の子どもの持つ意欲を把握するため高校生の理想の子ども数を把握すると、男子は「二人」が65%、「三人」が18%である。女子は「二人」が62%、「三人」が23%である(図IV-3)。

男子の回答は、一般未婚者とほぼ同じであり、一般全数集計に対して「三人」が大きく減少している。女子は、一般未婚者よりもさらに「三人」が少なくなっている。

図IV-3 理想の子ども数(単数)



(注) それぞれ、県民局別の県立高校生数(二年生・三年生)、20-49歳未婚者人口、20-49歳人口によるウェイトバック集計である

#### (4) 高校生の希望出生率の算出

(高校生の希望出生率は人口置換水準を下回る)

高校生の結婚希望と理想の子ども数を元に希望出生率を算出すると、男子 2.02、女子 2.04 となった(表Ⅳ-1)。「原初状態」と捉えられる県内高校生がすべて県内に定住し、その結婚希望と理想の子ども数を実現しても、人口置換水準(2.07)には達しない。

表Ⅳ-1 結婚希望と理想の子ども数を元に算出した希望出生率

(男子) N=1331

| 理想の子ども数            |                                | 1    | 2     | 3    | 4    | 5    | 0    | 合計   |
|--------------------|--------------------------------|------|-------|------|------|------|------|------|
| ①<br>理想の<br>子ども数   | ある程度の年齢までに結婚したい                | 0.05 | 0.68  | 0.24 | 0.02 | 0.00 | 0.02 | 1.00 |
|                    | 結婚したいと思う相手が見つければ結婚したい          | 0.07 | 0.67  | 0.19 | 0.01 | 0.02 | 0.03 | 1.00 |
|                    | 仕事や生き方と両立できないなら、すぐに結婚したいとは思わない | 0.11 | 0.63  | 0.12 | 0.01 | 0.00 | 0.13 | 1.00 |
|                    | 一生、結婚したいとは思わない                 | 0.05 | 0.16  | 0.04 | 0.02 | 0.02 | 0.71 | 1.00 |
|                    | その他                            | 0.08 | 0.42  | 0.08 | 0.00 | 0.25 | 0.17 | 1.00 |
| ②<br>理想の子<br>ども数×① | ある程度の年齢までに結婚したい                | 0.05 | 1.36  | 0.71 | 0.07 | 0.02 | 0.00 | 2.20 |
|                    | 結婚したいと思う相手が見つければ結婚したい          | 0.07 | 1.35  | 0.57 | 0.04 | 0.10 | 0.00 | 2.13 |
|                    | 仕事や生き方と両立できないなら、すぐに結婚したいとは思わない | 0.11 | 1.27  | 0.36 | 0.02 | 0.00 | 0.00 | 1.76 |
|                    | 一生、結婚したいとは思わない                 | 0    | 0     | 0    | 0    | 0    | 0    | 0.00 |
|                    | その他                            | 0.08 | 0.83  | 0.25 | 0.00 | 1.25 | 0.00 | 2.42 |
| ③<br>構成比           | ある程度の年齢までに結婚したい                | 0.49 | ④=②×③ |      |      |      |      | 1.08 |
|                    | 結婚したいと思う相手が見つければ結婚したい          | 0.29 |       |      |      |      |      | 0.63 |
|                    | 仕事や生き方と両立できないなら、すぐに結婚したいとは思わない | 0.16 |       |      |      |      |      | 0.28 |
|                    | 一生、結婚したいとは思わない                 | 0.04 |       |      |      |      |      | 0.00 |
|                    | その他                            | 0.01 |       |      |      |      |      | 0.02 |
| 理想ベースの希望出生率(④の合計)  |                                |      |       |      |      |      |      | 2.02 |

(女子) N=1193

| 理想の子ども数            |                                | 1    | 2     | 3    | 4    | 5    | 0    | 合計   |
|--------------------|--------------------------------|------|-------|------|------|------|------|------|
| ①<br>理想の<br>子ども数   | ある程度の年齢までに結婚したい                | 0.04 | 0.65  | 0.27 | 0.02 | 0.00 | 0.02 | 1.00 |
|                    | 結婚したいと思う相手が見つければ結婚したい          | 0.07 | 0.62  | 0.24 | 0.02 | 0.01 | 0.05 | 1.00 |
|                    | 仕事や生き方と両立できないなら、すぐに結婚したいとは思わない | 0.09 | 0.55  | 0.15 | 0.00 | 0.00 | 0.22 | 1.00 |
|                    | 一生、結婚したいとは思わない                 | 0.05 | 0.19  | 0.02 | 0.00 | 0.05 | 0.70 | 1.00 |
|                    | その他                            | 0.00 | 0.60  | 0.10 | 0.00 | 0.00 | 0.30 | 1.00 |
| ②<br>理想の子<br>ども数×① | ある程度の年齢までに結婚したい                | 0.04 | 1.31  | 0.82 | 0.07 | 0.02 | 0.00 | 2.25 |
|                    | 結婚したいと思う相手が見つければ結婚したい          | 0.07 | 1.23  | 0.71 | 0.08 | 0.05 | 0.00 | 2.13 |
|                    | 仕事や生き方と両立できないなら、すぐに結婚したいとは思わない | 0.09 | 1.09  | 0.46 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 1.63 |
|                    | 一生、結婚したいとは思わない                 | 0    | 0     | 0    | 0    | 0    | 0    | 0.00 |
|                    | その他                            | 0.00 | 1.20  | 0.30 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 1.50 |
| ③<br>構成比           | ある程度の年齢までに結婚したい                | 0.55 | ④=②×③ |      |      |      |      | 1.24 |
|                    | 結婚したいと思う相手が見つければ結婚したい          | 0.27 |       |      |      |      |      | 0.57 |
|                    | 仕事や生き方と両立できないなら、すぐに結婚したいとは思わない | 0.14 |       |      |      |      |      | 0.23 |
|                    | 一生、結婚したいとは思わない                 | 0.04 |       |      |      |      |      | 0.00 |
|                    | その他                            | 0.01 |       |      |      |      |      | 0.01 |
| 理想ベースの希望出生率(④の合計)  |                                |      |       |      |      |      |      | 2.04 |

(注) 生涯非婚は、理想の子ども数の回答があっても希望出生率への寄与はゼロとした

## 2. 結婚の見通しと現実に持てる子ども数

### (1) 結婚の見通し

(高校生は「結婚できない」「結婚が遅くなる」と思っている者が少ない)

一般調査では「理想」と比較して実際の結婚見通しについて把握した。高校生調査では、日本人の平均初婚年齢(2017年は夫31.1歳、妻29.4歳)との比較により結婚の見通しについて尋ねた。高校生では、「理想」と「現実」の間にギャップを生じさせる要因(社会での交際経験の有無、所得・労働状態等)がまだ発生してなく、「理想」と「現実」の比較では回答が困難と考えた。

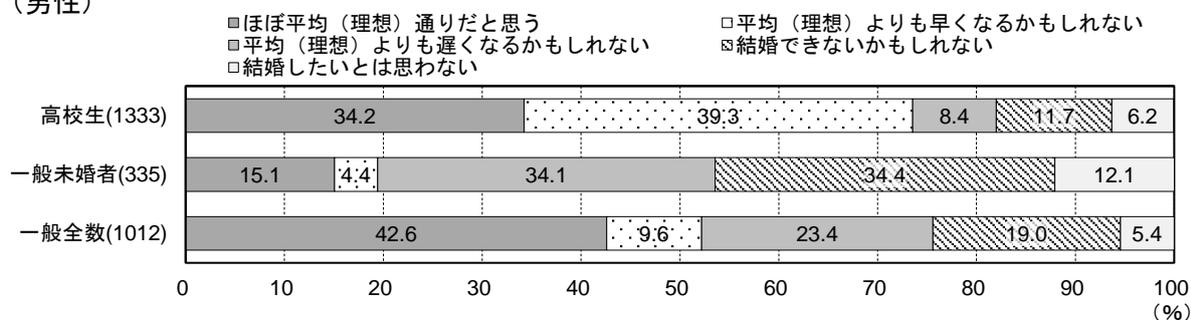
高校生では、一般調査と違って「結婚できないかもしれない」が少ない(男子12%、女子15%)(図IV-4)。また、「平均」と「理想」の違いのため単純な比較はできないものの、「遅くなる」も一般調査に比べて大幅に小さい(男子8%、女子9%)。

高校生の結婚意欲は「年齢志向」が多く、一般調査よりも結婚意欲が強く表れた。これは、一般調査では、現実の結婚見通しが結婚意欲に影響を及ぼしており、高校生の結婚意欲が高い理由の一つは、高校の時点では「結婚できない」「結婚が遅くなる」と思っている者が少ないためと考えられる。

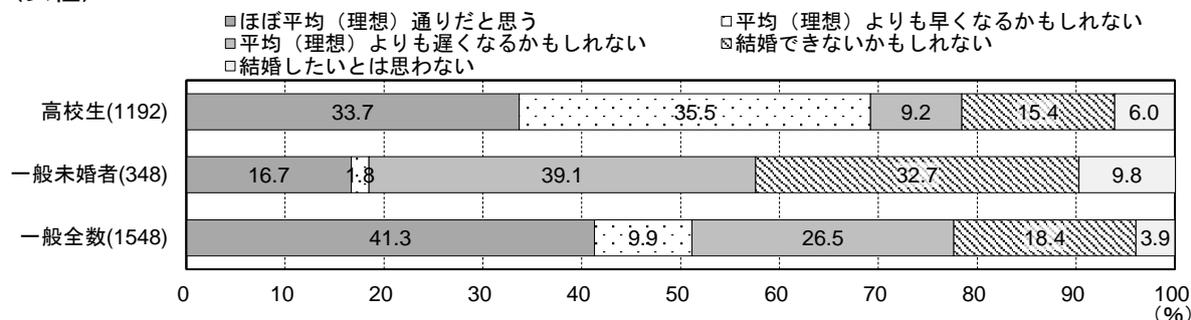
このため、高校卒業後の交際経験や就職後の所得・労働状況等により、結婚見通しに変化が生じ、これが影響を与えて結婚意欲が低下すると考えることができる。

図IV-4 結婚の見通し(単数)

(男性)



(女性)



(注) 1. それぞれ、県民局別の県立高校生数(二年生・三年生)、20-49歳未婚者人口、20-49歳人口によるウエイトバック集計である

2. 「平均」は高校生調査、「理想」は一般調査の選択肢の表現である

3. 一般調査の既婚者の選択肢は「ほぼ理想通りだった」など過去形である

## (2) 結婚希望が実現しない理由

### 「異性とうまく付き合えない」が高校生の特徴

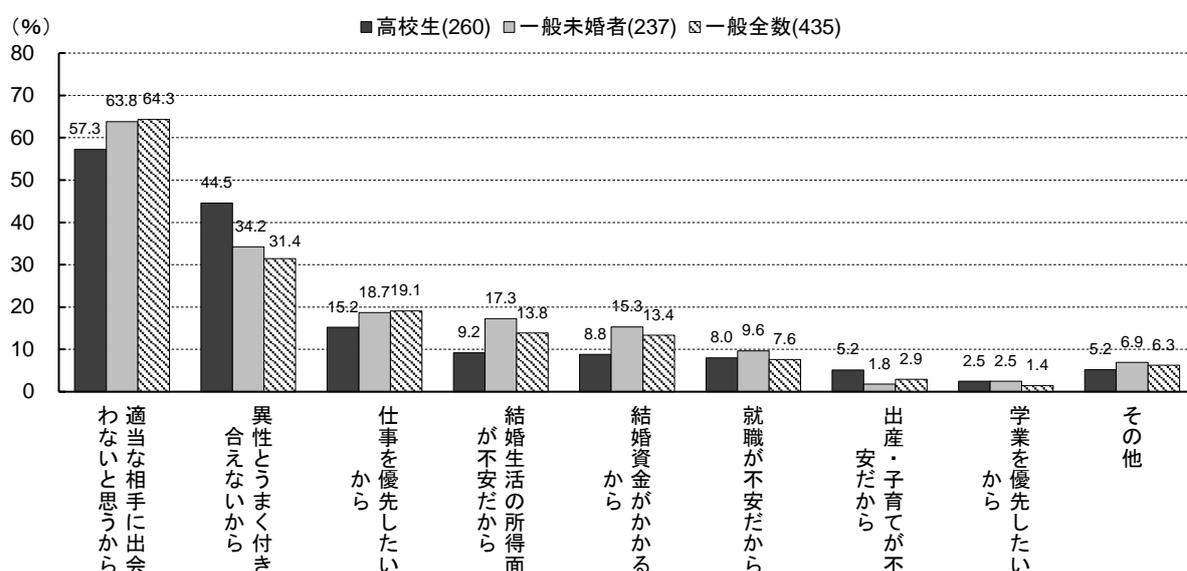
高校生が考える結婚希望が実現しない理由は、一般調査と同様に、「適当な相手に出会わない」と「異性とうまく付き合えないから」の二つが多い(図IV-5)。

ただし、「適当な相手に出会わないから」は一般よりやや少なく、反対に「異性とうまく付き合えない」が特に男子で一般よりも多くなっている。

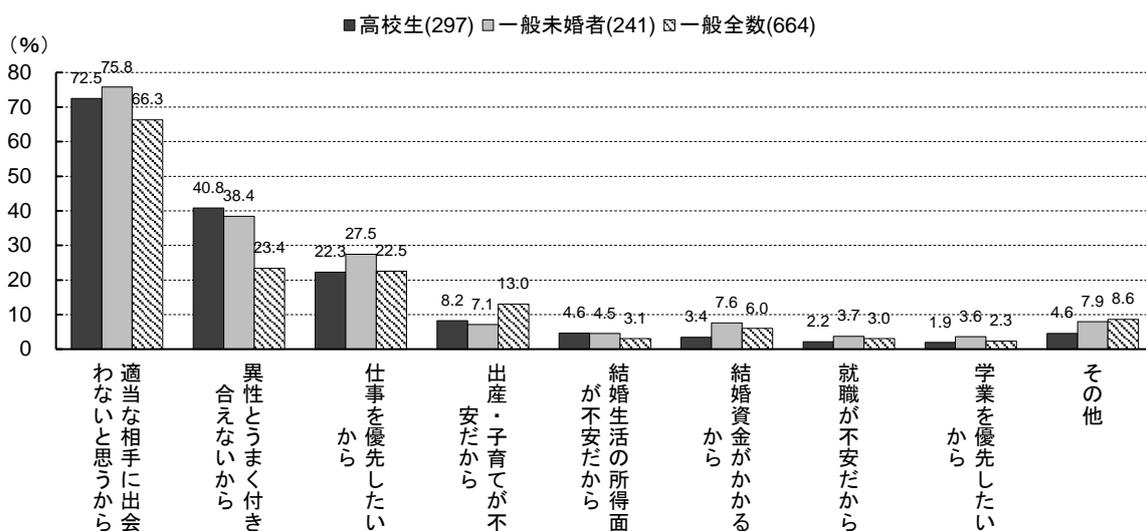
図IV-5 結婚希望が実現しない理由(複数)

(結婚が「平均よりも遅くなるかもしれない」及び「結婚できないかもしれない」)

(男性)



(女性)



(注) 1.それぞれ、県民局別の県立高校生数(二年生・三年生)、20-49歳未婚者人口、20-49歳人口によるウエイトバック集計である

2.図の選択肢は高校生調査のものであり、一般意識調査の選択肢には表現がやや異なるものがある

### (3) 現実に持てる子ども数

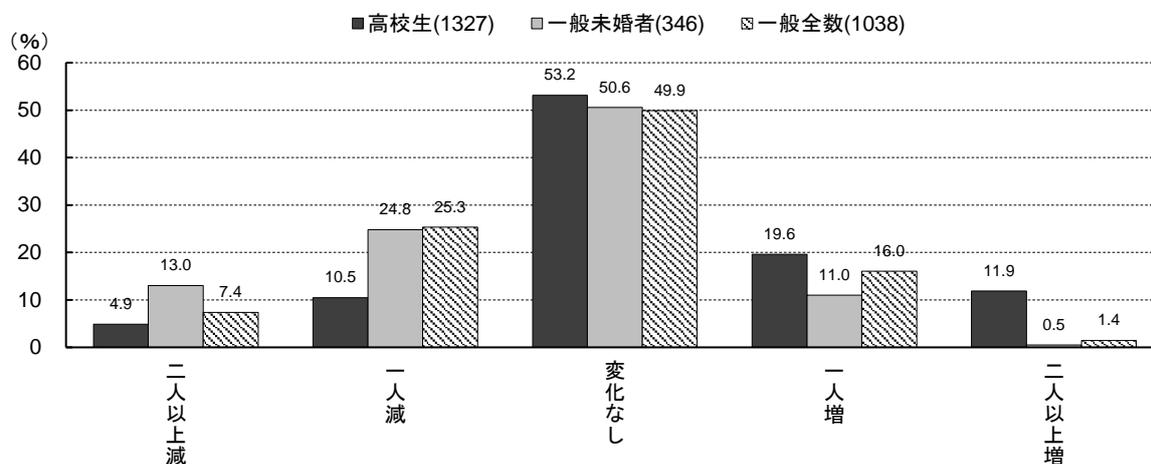
(高校生は理想数より現実数が増加している者が多い)

高校生の理想の子ども数と現実数との差を算出すると、高校生では「一人増」が男子20%、女子18%、「二人以上増」が男子12%、女子10%に達している(図IV-6)。子ども数の理想と現実の差は「減少」より「増加」の方が多く、高校生の大きな特徴になっている。一般調査では、理想と現実の差は「増加」より「減少」の方が多い。

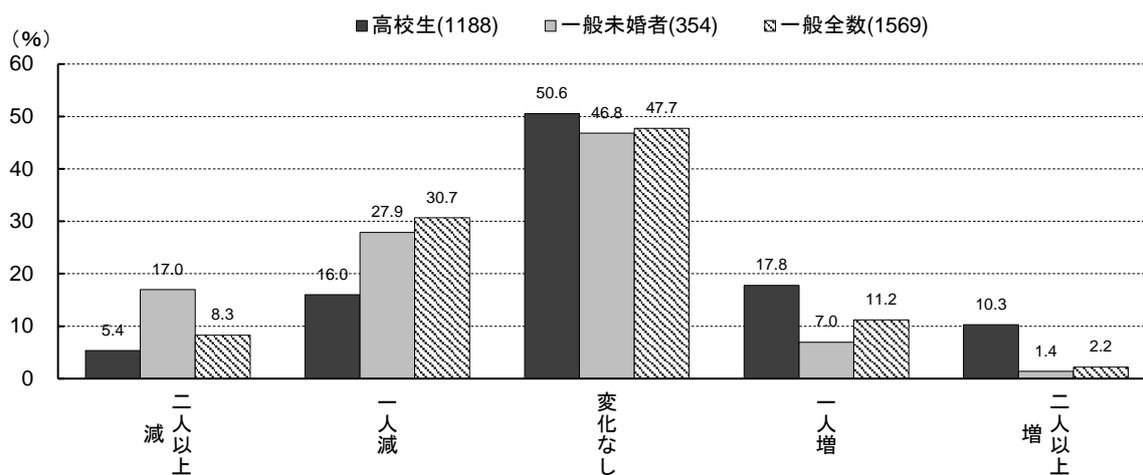
理想より現実が「増加」すると予想している者は、「ほしいと思う以上に子どもを持つことになる」と考えていると解釈することができ、高校生の子どもの持つ意欲の低さや周囲の期待に応えようとするプレッシャーを示している可能性がある。

図IV-6 理想の子ども数と現実に持てる子ども数との差

(男性)



(女性)



(注) それぞれ、県民局別の県立高校生数(二年生・三年生)、20-49歳未婚者人口、20-49歳人口によるウェイトバック集計である

#### (4) 結婚見通しと現実に持てる子ども数を元にした予想出生率

(高校生の予想出生率は2を下回る)

高校生の結婚見通しと現実に持てる子ども数を元に予想出生率を算出すると、男子1.99、女子1.84となった(表IV-2)。希望出生率と比較して、男子は0.03ポイントとわずかな低下であるが、女子は0.20ポイント低下する。

岡山県民の「原初状態」と捉えられる県内高校生の予想レベルで、出生率は男女とも2を割り込む。

表IV-2 結婚見通しと現実に持てる子ども数を元に算出した出生率

(男子) N=1336

| 現実子ども数            |                | 1    | 2     | 3    | 4    | 5    | 0    | 合計   |
|-------------------|----------------|------|-------|------|------|------|------|------|
| ①<br>現実<br>子ども数   | ほぼ平均通りだと思う     | 0.09 | 0.50  | 0.30 | 0.05 | 0.03 | 0.03 | 1.00 |
|                   | 平均より早くなるかもしれない | 0.06 | 0.48  | 0.34 | 0.07 | 0.05 | 0.01 | 1.00 |
|                   | 平均より遅くなるかもしれない | 0.11 | 0.43  | 0.23 | 0.08 | 0.06 | 0.09 | 1.00 |
|                   | 結婚できないかもしれない   | 0.11 | 0.42  | 0.17 | 0.03 | 0.01 | 0.25 | 1.00 |
|                   | 結婚したいとは思わない    | 0.06 | 0.31  | 0.20 | 0.01 | 0.01 | 0.41 | 1.00 |
| ②<br>現実子ども<br>数×① | ほぼ平均通りだと思う     | 0.09 | 1.00  | 0.91 | 0.20 | 0.16 | 0.00 | 2.35 |
|                   | 平均より早くなるかもしれない | 0.06 | 0.96  | 1.01 | 0.28 | 0.23 | 0.00 | 2.53 |
|                   | 平均より遅くなるかもしれない | 0.11 | 0.86  | 0.68 | 0.32 | 0.31 | 0.00 | 2.28 |
|                   | 結婚できないかもしれない   | 0    | 0     | 0    | 0    | 0    | 0    | 0.00 |
|                   | 結婚したいとは思わない    | 0    | 0     | 0    | 0    | 0    | 0    | 0.00 |
| ③<br>構成比          | ほぼ平均通りだと思う     | 0.34 | ④=②×③ |      |      |      |      | 0.79 |
|                   | 平均より早くなるかもしれない | 0.40 |       |      |      |      |      | 1.01 |
|                   | 平均より遅くなるかもしれない | 0.09 |       |      |      |      |      | 0.19 |
|                   | 結婚できないかもしれない   | 0.12 |       |      |      |      |      | 0.00 |
|                   | 結婚したいとは思わない    | 0.06 |       |      |      |      |      | 0.00 |
| 予想出生率 (④の合計)      |                |      |       |      |      |      |      | 1.99 |

(女子) N=1190

| 現実子ども数            |                | 1    | 2     | 3    | 4    | 5    | 0    | 合計   |
|-------------------|----------------|------|-------|------|------|------|------|------|
| ①<br>現実<br>子ども数   | ほぼ平均通りだと思う     | 0.09 | 0.53  | 0.27 | 0.05 | 0.02 | 0.03 | 1.00 |
|                   | 平均より早くなるかもしれない | 0.04 | 0.50  | 0.33 | 0.08 | 0.03 | 0.02 | 1.00 |
|                   | 平均より遅くなるかもしれない | 0.13 | 0.53  | 0.18 | 0.06 | 0.02 | 0.08 | 1.00 |
|                   | 結婚できないかもしれない   | 0.14 | 0.48  | 0.14 | 0.03 | 0.02 | 0.21 | 1.00 |
|                   | 結婚したいとは思わない    | 0.07 | 0.38  | 0.11 | 0.01 | 0.06 | 0.37 | 1.00 |
| ②<br>現実子ども<br>数×① | ほぼ平均通りだと思う     | 0.09 | 1.06  | 0.82 | 0.21 | 0.12 | 0.00 | 2.30 |
|                   | 平均より早くなるかもしれない | 0.04 | 1.00  | 0.98 | 0.32 | 0.13 | 0.00 | 2.48 |
|                   | 平均より遅くなるかもしれない | 0.13 | 1.06  | 0.53 | 0.25 | 0.09 | 0.00 | 2.06 |
|                   | 結婚できないかもしれない   | 0    | 0     | 0    | 0    | 0    | 0    | 0.00 |
|                   | 結婚したいとは思わない    | 0    | 0     | 0    | 0    | 0    | 0    | 0.00 |
| ③<br>構成比          | ほぼ平均通りだと思う     | 0.33 | ④=②×③ |      |      |      |      | 0.76 |
|                   | 平均より早くなるかもしれない | 0.35 |       |      |      |      |      | 0.88 |
|                   | 平均より遅くなるかもしれない | 0.09 |       |      |      |      |      | 0.20 |
|                   | 結婚できないかもしれない   | 0.16 |       |      |      |      |      | 0.00 |
|                   | 結婚したいとは思わない    | 0.06 |       |      |      |      |      | 0.00 |
| 予想出生率 (④の合計)      |                |      |       |      |      |      |      | 1.84 |

(注) 生涯非婚は、現実子ども数の回答があっても出生率への寄与はゼロとした

### 3. 高校生が希望するライフコースの影響

#### (1) ライフコースの志向性と定住意識

高校生の結婚意欲にみられる特徴の一つは「相手が見つかって、仕事や自分の生き方と両立できないなら、すぐに結婚したいとは思わない」(結婚とライフコースを比較考量する志向性)が一般調査に比べて多いことである。これには、高校生が進学・就職の前であって、ライフコースの志向性とそれを実現するための地域間移動が影響していると考えられる。

#### ① 高校生の定住意識

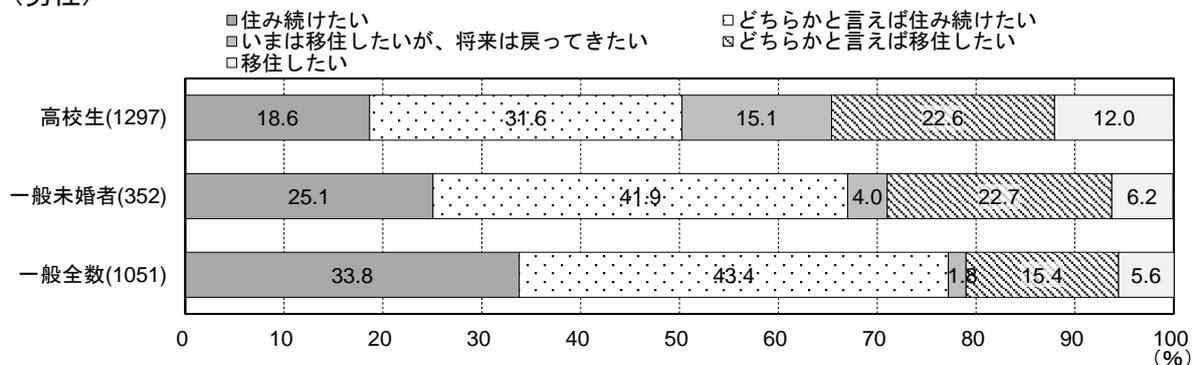
##### (移住希望者は女子に多い)

いま暮らしている地域でこれからも「住み続けたい」、「どちらかとも住み続けたい」とする定住希望者は男子 50%、女子 43%である(図IV-7)。「いまは移住したいが、将来は戻ってきたい」というUターン希望者を定住希望者に加えると、男子 65%、女子 59%となる。

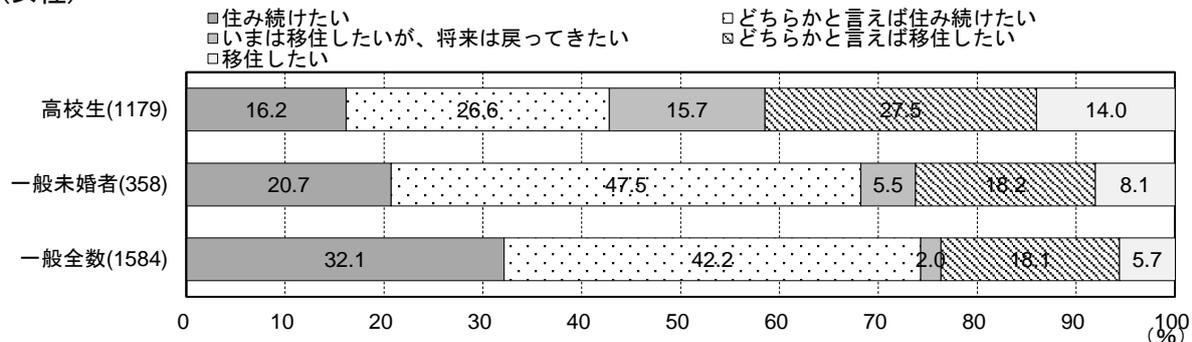
反対に、いま暮らしている地域からの移住希望者(どちらかと言えば移住したい+移住したい)は、男子 35%、女子 42%であり、一般調査を大きく上回っていることが高校生の特徴になっている。移住希望者が一般調査に比べて多い傾向は、女子に顕著に表れている。

図IV-7 暮らしている地域に対する定住意識(単数)

#### (男性)



#### (女性)



(注) それぞれ、県民局別の県立高校生数(二年生・三年生)、20-49歳未婚者人口、20-49歳人口によるウェイトバック集計である

②ライフコースの志向性が定住意識に対して及ぼす影響

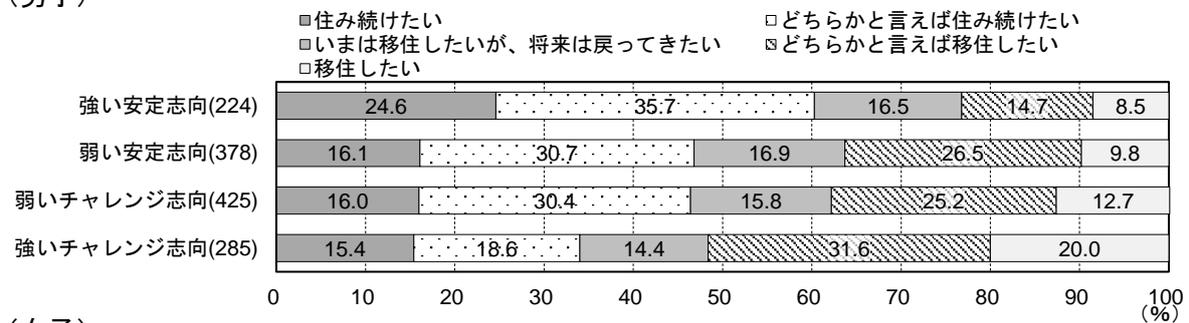
(チャレンジ志向が強いと移住希望者が多くなる)

高校生調査でも、一般調査と同じライフコースの志向性を把握する質問を行い、ライフコースの志向性を4段階に区分した。

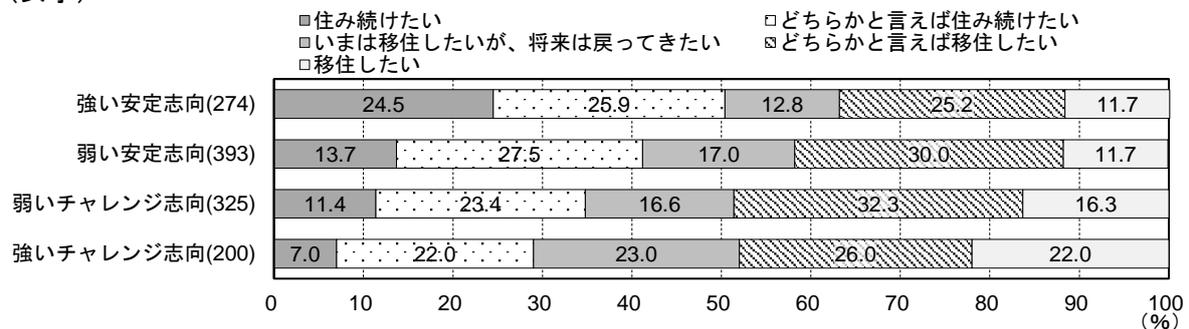
男女とも安定志向であると10%程度である「移住したい」が、「強いチャレンジ志向」では20%を上回るようになるなど、安定志向からチャレンジ志向に変わると、いま暮らしている地域からの移住希望者が多くなることが明らかである(図IV-8)。女子は、チャレンジ志向が強いと、Uターン希望者(将来は戻ってきたいが、いまは移住したい)も多くなる傾向がみられる。

図IV-8 ライフコースの志向別にみた定住意識(単数)

(男子)



(女子)



| 項目         | 男      | 女      |
|------------|--------|--------|
| クラメールの連関係数 | 0.1191 | 0.1224 |
| P値         | 0.0000 | 0.0000 |

ライフコースは「安定志向」と「チャレンジ志向」の二区分とし、移住の希望は、「どちらかと言えば移住したい」と「移住したい」を「移住」、「住み続けたい」から「いまは移住したいが、将来は戻ってきたい」までを「定住」に区分し直した。「チャレンジ志向」であると「安定志向」に対して、「移住」の出現率は男子で1.7倍、女子で1.4倍となる(表IV-3)。

表IV-3 ライフコースの志向性の移住意識に対する影響の強さ

(件、%、倍)

| 性別 | ライフコースの志向性：チャレンジ志向 |      |      | ライフコースの志向性：安定志向 |      |      | オッズ比 |
|----|--------------------|------|------|-----------------|------|------|------|
|    | N                  | 移住   | 定住   | N               | 移住   | 定住   |      |
| 男子 | 710                | 43.4 | 56.6 | 602             | 31.4 | 68.6 | 1.67 |
| 女子 | 525                | 48.4 | 51.6 | 667             | 39.7 | 60.3 | 1.42 |

(2) 定住意識が及ぼす結婚意欲への影響

①ライフコースの志向性別にみた移住希望地域

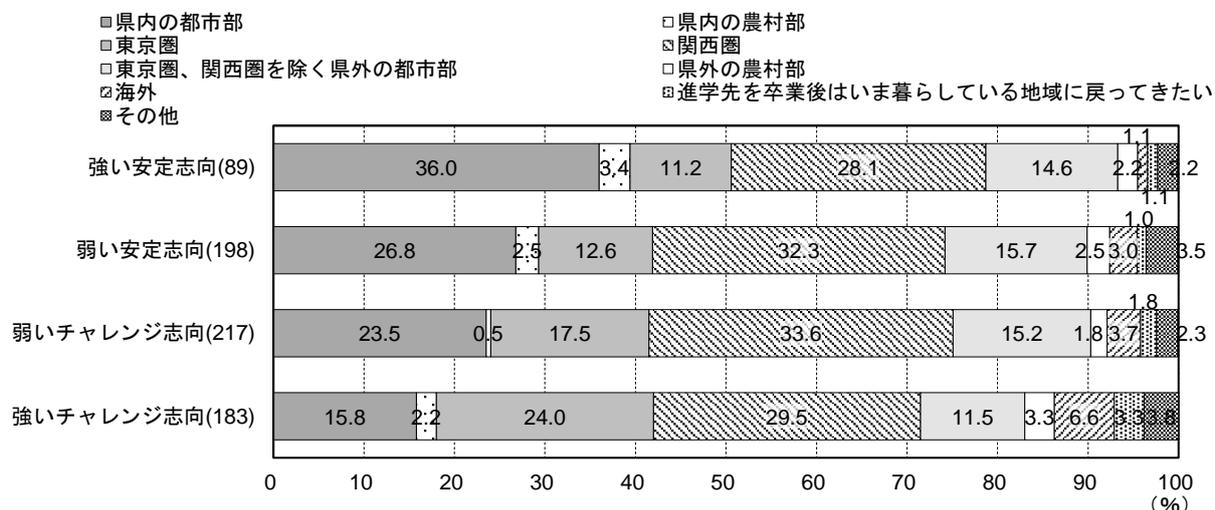
(チャレンジ志向であると移住希望地域は東京・海外が多い)

図IV-7で把握した移住希望者とUターン希望者に対して、高校卒業後・進学先卒業後の移住希望地域を尋ね、ライフコースの志向別で集計を行った(図IV-9)。

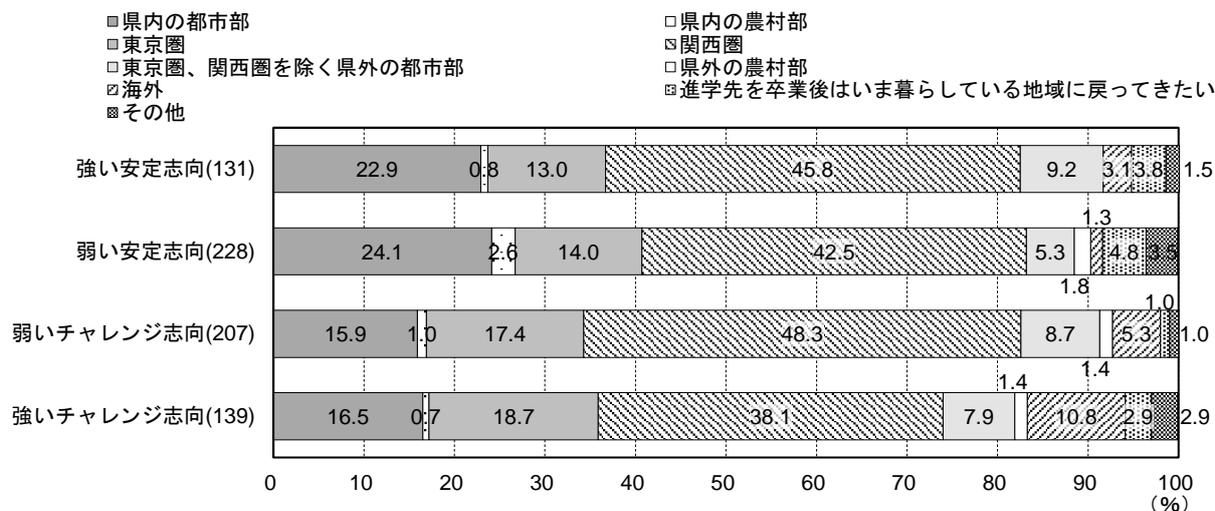
結果、同じ移住希望者・Uターン希望者でも、「強い安定志向」は「県内の都市部」が多く、チャレンジ志向が強くなるにつれて「東京圏」「海外」が多くなる傾向が明らかである。特に、男子で、その傾向が顕著に表れている。

図IV-9 ライフコースの志向性別にみた高校卒業後の移住希望地域  
(移住希望者・Uターン希望者、単数)

(男子)



(女子)



## ②移住希望地域と結婚意欲との関係

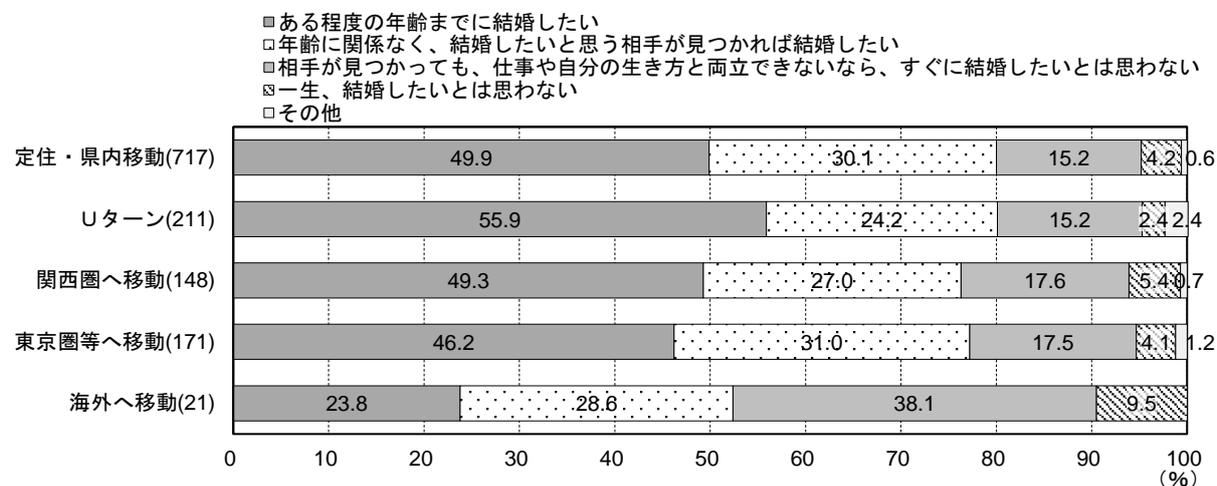
(移住希望地域が東京であるとライフコースと結婚を比較考量する者が多い)

移住希望地を分析軸にして結婚意欲を集計し、女子の結果をみると、「定住・県内移動」では「相手が見つかって、仕事や自分の生き方と両立できないなら、すぐに結婚したいと思わない」が10%であるのに対して、「関西圏へ移動」では15%、「東京圏等への移動」では24%に増加する(図IV-10)。男子では、同回答の「定住・県内移動」と、関西圏や東京圏への移動希望者との差は約2ポイントにとどまる。

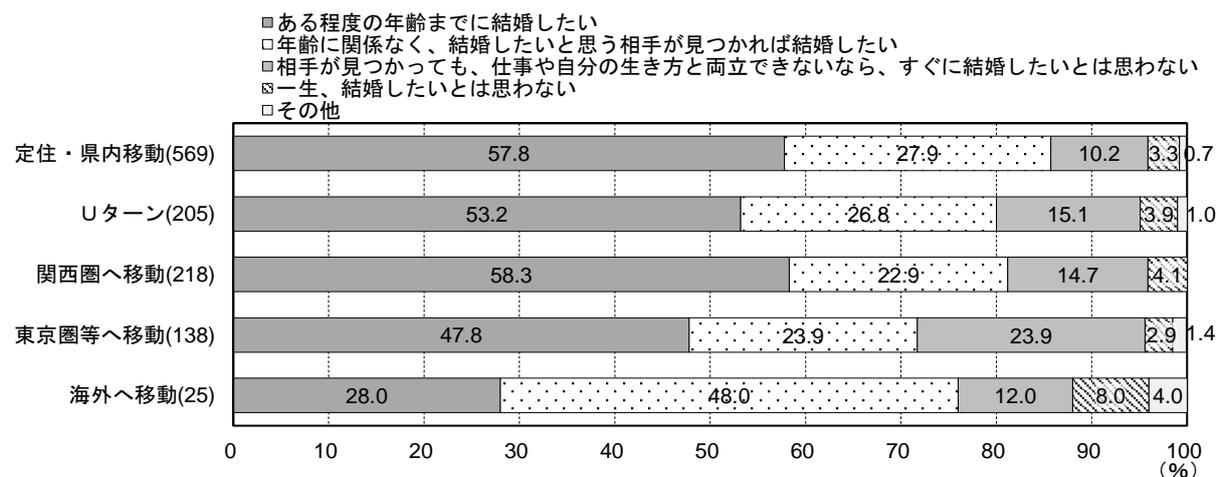
ライフコースのチャレンジ志向が強まると県外への移住志向が高まり、東京圏等を移住先に希望する女子ではライフコースと結婚を比較考量する意識が強く表れる。

図IV-10 移住希望地域別にみた結婚意欲(単数)

(男子)



(女子)



## ③定住意識と予想出生率

(女子では移住志向であると予想出生率が約0.2ポイント低い)

表IV-2で算出した結婚見通しと現実に持てる子ども数を元にした予想出生率は、男子1.99、女子1.84であった。

ここまでの分析を踏まえ、高校生の予想出生率を、定住志向、移住志向に分けて算出すると、男子では定住志向が2.01、移住志向が1.99となり、ほとんど差が表れなかった(表IV-4)。一方、女子では、定住志向1.92、移住志向1.74であり、約0.2ポイントの差が生じる(表IV-5)。このため、移住志向の女子高校生が多い地域では、それらの者が進学・就職を機に地域から転出することにより、見かけの上、出生率が上昇すると考えられる。

表IV-4 結婚見通しと現実に持てる子ども数を元に算出した出生率  
(定住・移住志向別、男子)

(定住志向) N=808

| 現実子ども数            |                | 1    | 2     | 3    | 4    | 5    | 0    | 合計   |
|-------------------|----------------|------|-------|------|------|------|------|------|
| ①<br>現実<br>子ども数   | ほぼ平均通りだと思う     | 0.09 | 0.50  | 0.32 | 0.05 | 0.03 | 0.01 | 1.00 |
|                   | 平均より早くなるかもしれない | 0.07 | 0.48  | 0.34 | 0.06 | 0.04 | 0.01 | 1.00 |
|                   | 平均より遅くなるかもしれない | 0.14 | 0.51  | 0.18 | 0.06 | 0.07 | 0.06 | 1.00 |
|                   | 結婚できないかもしれない   | 0.12 | 0.40  | 0.18 | 0.03 | 0.01 | 0.26 | 1.00 |
|                   | 結婚したいとは思わない    | 0.06 | 0.34  | 0.17 | 0.00 | 0.00 | 0.43 | 1.00 |
| ②<br>現実子ども数×①     | ほぼ平均通りだと思う     | 0.09 | 1.00  | 0.95 | 0.20 | 0.16 | 0.00 | 2.40 |
|                   | 平均より早くなるかもしれない | 0.07 | 0.97  | 1.02 | 0.24 | 0.19 | 0.00 | 2.49 |
|                   | 平均より遅くなるかもしれない | 0.14 | 1.01  | 0.53 | 0.22 | 0.34 | 0.00 | 2.25 |
|                   | 結婚できないかもしれない   | 0    | 0     | 0    | 0    | 0    | 0    | 0.00 |
|                   | 結婚したいとは思わない    | 0    | 0     | 0    | 0    | 0    | 0    | 0.00 |
| ③<br>構成比          | ほぼ平均通りだと思う     | 0.35 | ④=②×③ |      |      |      |      | 0.85 |
|                   | 平均より早くなるかもしれない | 0.39 |       |      |      |      |      | 0.96 |
|                   | 平均より遅くなるかもしれない | 0.09 |       |      |      |      |      | 0.20 |
|                   | 結婚できないかもしれない   | 0.11 |       |      |      |      |      | 0.00 |
|                   | 結婚したいとは思わない    | 0.06 |       |      |      |      |      | 0.00 |
| 現実予想ベースの出生率(④の合計) |                |      |       |      |      |      |      | 2.01 |

(移住志向) N=491

| 現実子ども数            |                | 1    | 2     | 3    | 4    | 5    | 0    | 合計   |
|-------------------|----------------|------|-------|------|------|------|------|------|
| ①<br>現実<br>子ども数   | ほぼ平均通りだと思う     | 0.08 | 0.49  | 0.29 | 0.06 | 0.03 | 0.06 | 1.00 |
|                   | 平均より早くなるかもしれない | 0.03 | 0.49  | 0.32 | 0.09 | 0.05 | 0.02 | 1.00 |
|                   | 平均より遅くなるかもしれない | 0.08 | 0.28  | 0.33 | 0.13 | 0.05 | 0.15 | 1.00 |
|                   | 結婚できないかもしれない   | 0.10 | 0.44  | 0.17 | 0.03 | 0.02 | 0.24 | 1.00 |
|                   | 結婚したいとは思わない    | 0.03 | 0.32  | 0.27 | 0.03 | 0.03 | 0.32 | 1.00 |
| ②<br>現実子ども数×①     | ほぼ平均通りだと思う     | 0.08 | 0.97  | 0.86 | 0.23 | 0.16 | 0.00 | 2.30 |
|                   | 平均より早くなるかもしれない | 0.03 | 0.97  | 0.97 | 0.35 | 0.27 | 0.00 | 2.60 |
|                   | 平均より遅くなるかもしれない | 0.08 | 0.55  | 0.98 | 0.50 | 0.25 | 0.00 | 2.35 |
|                   | 結婚できないかもしれない   | 0    | 0     | 0    | 0    | 0    | 0    | 0.00 |
|                   | 結婚したいとは思わない    | 0    | 0     | 0    | 0    | 0    | 0    | 0.00 |
| ③<br>構成比          | ほぼ平均通りだと思う     | 0.31 | ④=②×③ |      |      |      |      | 0.72 |
|                   | 平均より早くなるかもしれない | 0.42 |       |      |      |      |      | 1.08 |
|                   | 平均より遅くなるかもしれない | 0.08 |       |      |      |      |      | 0.19 |
|                   | 結婚できないかもしれない   | 0.12 |       |      |      |      |      | 0.00 |
|                   | 結婚したいとは思わない    | 0.07 |       |      |      |      |      | 0.00 |
| 現実予想ベースの出生率(④の合計) |                |      |       |      |      |      |      | 1.99 |

(注) 生涯非婚は、現実子ども数の回答があっても出生率への寄与はゼロとした

表Ⅳ－５ 結婚見通しと現実に持てる子ども数を元に算出した出生率  
(定住・移住志向別、女子)

(定住志向) N=662

| 現実子ども数             |                | 1    | 2     | 3    | 4    | 5    | 0    | 合計   |
|--------------------|----------------|------|-------|------|------|------|------|------|
| ①<br>現実<br>子ども数    | ほぼ平均通りだと思う     | 0.09 | 0.55  | 0.25 | 0.06 | 0.03 | 0.02 | 1.00 |
|                    | 平均より早くなるかもしれない | 0.03 | 0.53  | 0.31 | 0.08 | 0.04 | 0.01 | 1.00 |
|                    | 平均より遅くなるかもしれない | 0.12 | 0.59  | 0.19 | 0.03 | 0.02 | 0.05 | 1.00 |
|                    | 結婚できないかもしれない   | 0.15 | 0.48  | 0.11 | 0.02 | 0.02 | 0.22 | 1.00 |
|                    | 結婚したいとは思わない    | 0.11 | 0.39  | 0.08 | 0.03 | 0.00 | 0.39 | 1.00 |
| ②<br>現実子ども<br>数×①  | ほぼ平均通りだと思う     | 0.09 | 1.11  | 0.76 | 0.23 | 0.13 | 0.00 | 2.32 |
|                    | 平均より早くなるかもしれない | 0.03 | 1.06  | 0.93 | 0.33 | 0.19 | 0.00 | 2.53 |
|                    | 平均より遅くなるかもしれない | 0.12 | 1.19  | 0.56 | 0.14 | 0.09 | 0.00 | 2.08 |
|                    | 結婚できないかもしれない   | 0    | 0     | 0    | 0    | 0    | 0    | 0.00 |
|                    | 結婚したいとは思わない    | 0    | 0     | 0    | 0    | 0    | 0    | 0.00 |
| ③<br>構成比           | ほぼ平均通りだと思う     | 0.34 | ④=②×③ |      |      |      |      | 0.80 |
|                    | 平均より早くなるかもしれない | 0.37 |       |      |      |      |      | 0.94 |
|                    | 平均より遅くなるかもしれない | 0.09 |       |      |      |      |      | 0.19 |
|                    | 結婚できないかもしれない   | 0.14 |       |      |      |      |      | 0.00 |
|                    | 結婚したいとは思わない    | 0.05 |       |      |      |      |      | 0.00 |
| 現実予想ベースの出生率 (④の合計) |                |      |       |      |      |      |      | 1.92 |

(移住志向) N=514

| 現実子ども数             |                | 1    | 2     | 3    | 4    | 5    | 0    | 合計   |
|--------------------|----------------|------|-------|------|------|------|------|------|
| ①<br>現実<br>子ども数    | ほぼ平均通りだと思う     | 0.08 | 0.49  | 0.29 | 0.06 | 0.03 | 0.06 | 1.00 |
|                    | 平均より早くなるかもしれない | 0.03 | 0.49  | 0.32 | 0.09 | 0.05 | 0.02 | 1.00 |
|                    | 平均より遅くなるかもしれない | 0.08 | 0.28  | 0.33 | 0.13 | 0.05 | 0.15 | 1.00 |
|                    | 結婚できないかもしれない   | 0.10 | 0.44  | 0.17 | 0.03 | 0.02 | 0.24 | 1.00 |
|                    | 結婚したいとは思わない    | 0.03 | 0.32  | 0.27 | 0.03 | 0.03 | 0.32 | 1.00 |
| ②<br>現実子ども<br>数×①  | ほぼ平均通りだと思う     | 0.08 | 0.97  | 0.86 | 0.23 | 0.16 | 0.00 | 2.30 |
|                    | 平均より早くなるかもしれない | 0.03 | 0.97  | 0.97 | 0.35 | 0.27 | 0.00 | 2.60 |
|                    | 平均より遅くなるかもしれない | 0.08 | 0.55  | 0.98 | 0.50 | 0.25 | 0.00 | 2.35 |
|                    | 結婚できないかもしれない   | 0    | 0     | 0    | 0    | 0    | 0    | 0.00 |
|                    | 結婚したいとは思わない    | 0    | 0     | 0    | 0    | 0    | 0    | 0.00 |
| ③<br>構成比           | ほぼ平均通りだと思う     | 0.32 | ④=②×③ |      |      |      |      | 0.73 |
|                    | 平均より早くなるかもしれない | 0.33 |       |      |      |      |      | 0.80 |
|                    | 平均より遅くなるかもしれない | 0.10 |       |      |      |      |      | 0.20 |
|                    | 結婚できないかもしれない   | 0.18 |       |      |      |      |      | 0.00 |
|                    | 結婚したいとは思わない    | 0.07 |       |      |      |      |      | 0.00 |
| 現実予想ベースの出生率 (④の合計) |                |      |       |      |      |      |      | 1.74 |

(注) 生涯非婚は、現実子ども数の回答があっても出生率への寄与はゼロとした

④定住・移住に当たって重視すること

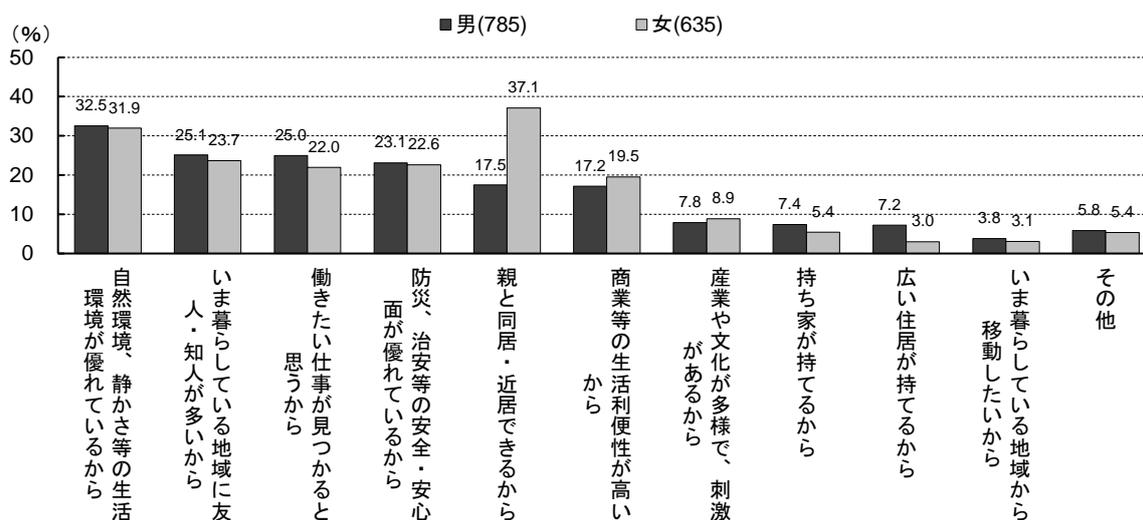
(定住希望の女子では「親と同居・近居できるから」が最も多い)

定住希望者(Uターン希望者を含む)が定住に当たって重視することは、男女とも、「自然環境、静けさ等の生活環境が優れているから」「いま暮らしている地域には友人・知人が多いから」「働きたい仕事が見つかるから」等が多いが、女子では「親と同居・近居できるから」が37%と最多である(図IV-11)。この結果から、女子は高校卒業後の移動により、家族とのきずなを重視し、社会関係性が強い者が地域に残ることが考えられる。

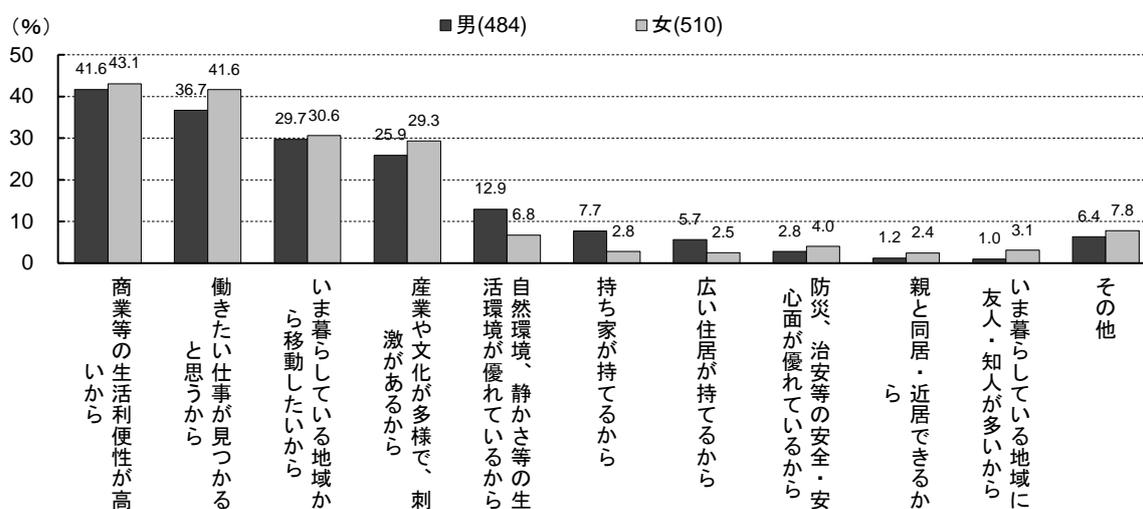
移住希望者の移住に当たって重視することは、「商業等の生活利便性が高いから」「働きたい仕事が見つかるから」「いま暮らしている地域から移動したいから」等が多い。これらの項目は全般に男子より女子で回答が多くなっている。また、「働きたい仕事が見つかるから」は定住希望者でも上位であるものの、移住希望者の方の割合が高い。

図IV-11 定住・移住に当たって重視すること(複数)

(定住希望者)



(移住希望者)



(注) 県民局別の県立高校生数(二年生・三年生)によるウエイトバック集計である

## 4. 社会関係性の影響

### (1) 高校生が持つ社会関係性の強さの把握

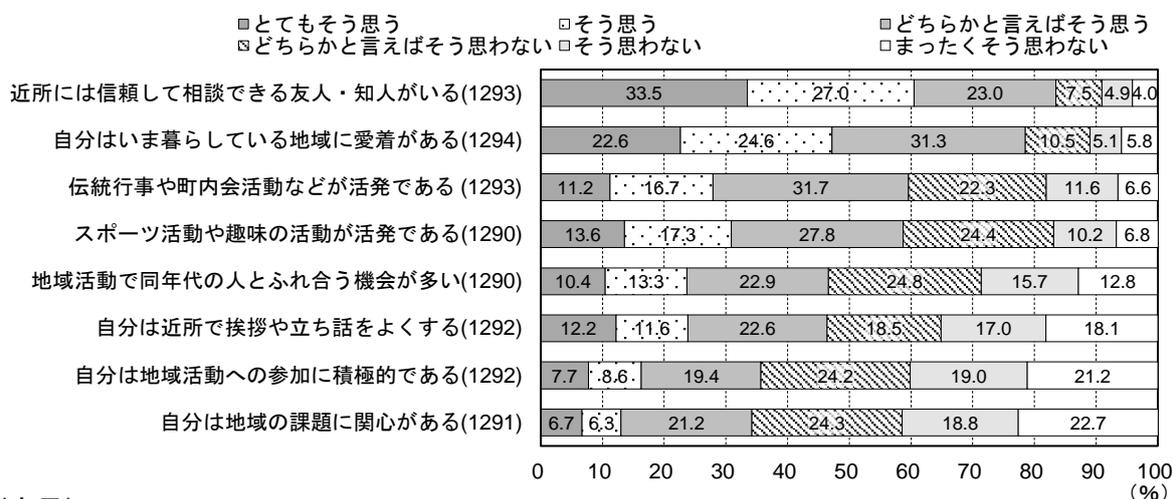
#### (高校生を取り巻く地域コミュニティの活発度や地域社会と関わり方の把握)

高校生は、学校やコミュニティ活動等を通じて地域との関わりを得るチャネルが多いと考えられるため、ライフコースとともに、「社会関係性」が結婚や子どもを持つ意欲等に強い影響を及ぼしていることが考えられる。

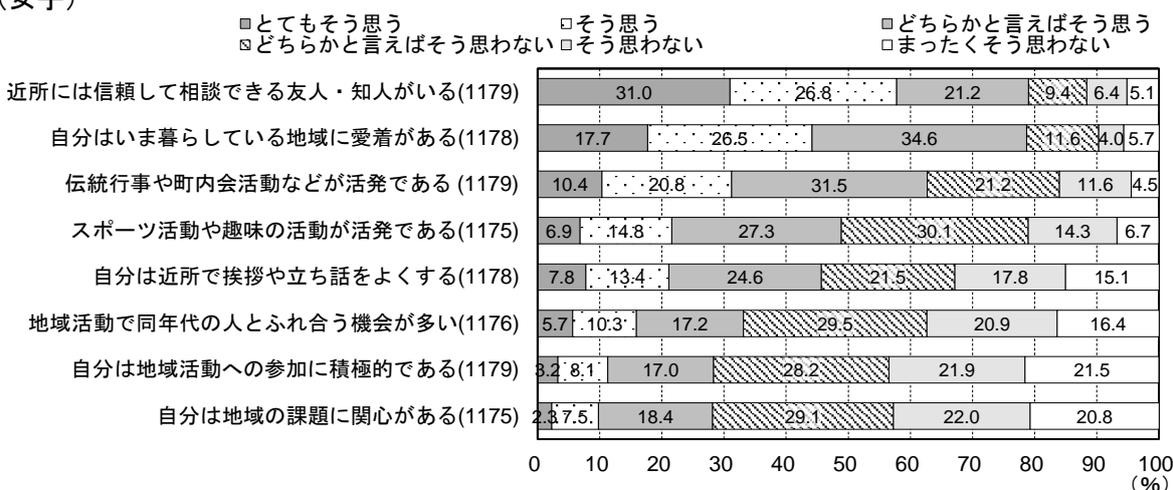
一般調査と同様、高校生を取り巻く地域コミュニティの活発度や自分自身の地域社会との関わり方について質問し、一人ひとりの高校生が保有する社会関係性の強さを把握した(図IV-12)。

図IV-12 高校生を取り巻く地域コミュニティの活発度及び高校生の地域社会との関わり方(単数)

(男子)



(女子)



一般調査と同じように、八つの質問の回答結果を点数化した上で、主成分分析により各質問より得られた点数を合成し、第一主成分を高校生の「社会関係性」の保有量を示す指標とした。作成された指標は標準化(平均値0、標準偏差1)されており、-1、0、1を区切りにして、高校生の社会関係性の保有量を四つに区分した。

(2) 結婚意欲に対する影響

(社会関係性は男子の結婚意欲に強く影響)

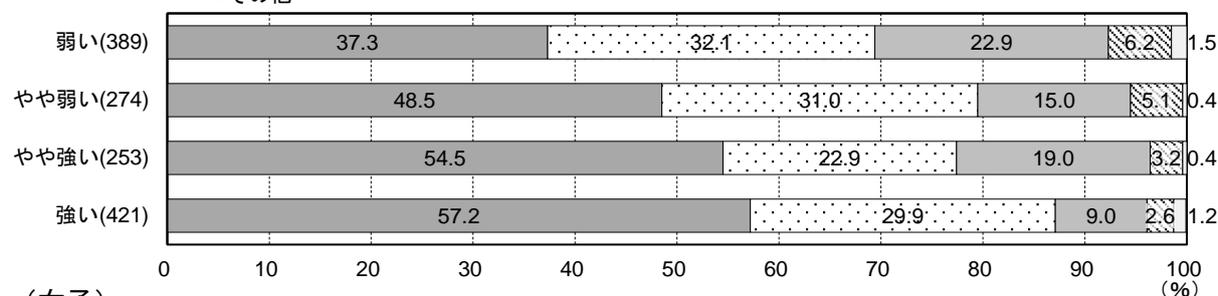
高校生では、社会関係性の保有量が多くなると結婚意欲が強くなる傾向がみられる(図IV-13)。特に、男子では、社会関係性が「弱い」と年齢志向は37%にとどまるものの「強い」では57%に達する。

他方、一般未婚者と一般既婚者について社会関係性と結婚意欲との関係を調べたが、男女とも両者に明確な関係はみられなかった。

図IV-13 社会関係性の強さ別にみた結婚についての考え(単数)

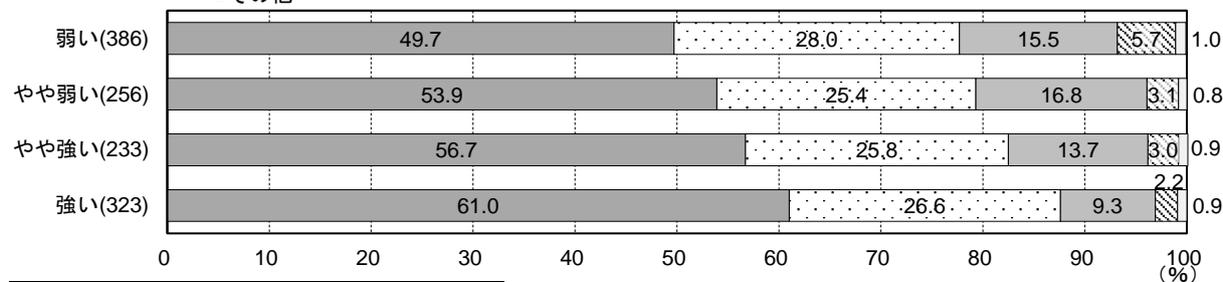
(男子)

- ある程度の年齢までに結婚したい
- 年齢に関係なく、結婚したいと思う相手が見つければ結婚したい
- ▨ 相手が見つかって、仕事や自分の生き方と両立できないなら、すぐに結婚したいとは思わない
- ▩ 一生、結婚したいとは思わない
- その他



(女子)

- ある程度の年齢までに結婚したい
- 年齢に関係なく、結婚したいと思う相手が見つければ結婚したい
- ▨ 相手が見つかって、仕事や自分の生き方と両立できないなら、すぐに結婚したいとは思わない
- ▩ 一生、結婚したいとは思わない
- その他



| 項目         | 男      | 女      |
|------------|--------|--------|
| クラメールの連関係数 | 0.1217 | 0.0726 |
| P値         | 0.0000 | 0.0905 |

社会関係性が結婚意欲に与える影響の強さを把握すると、社会関係性が「強」であると、「弱」に比較して「意欲強(年齢志向)」の出現率が男子では1.8倍、女子では1.4倍になる(表IV-6)。特に男子で、社会関係性は結婚意欲に対し強い影響を及ぼしている。

表IV-6 社会関係性の強さの結婚意欲に対する影響の強さ

(件、%、倍)

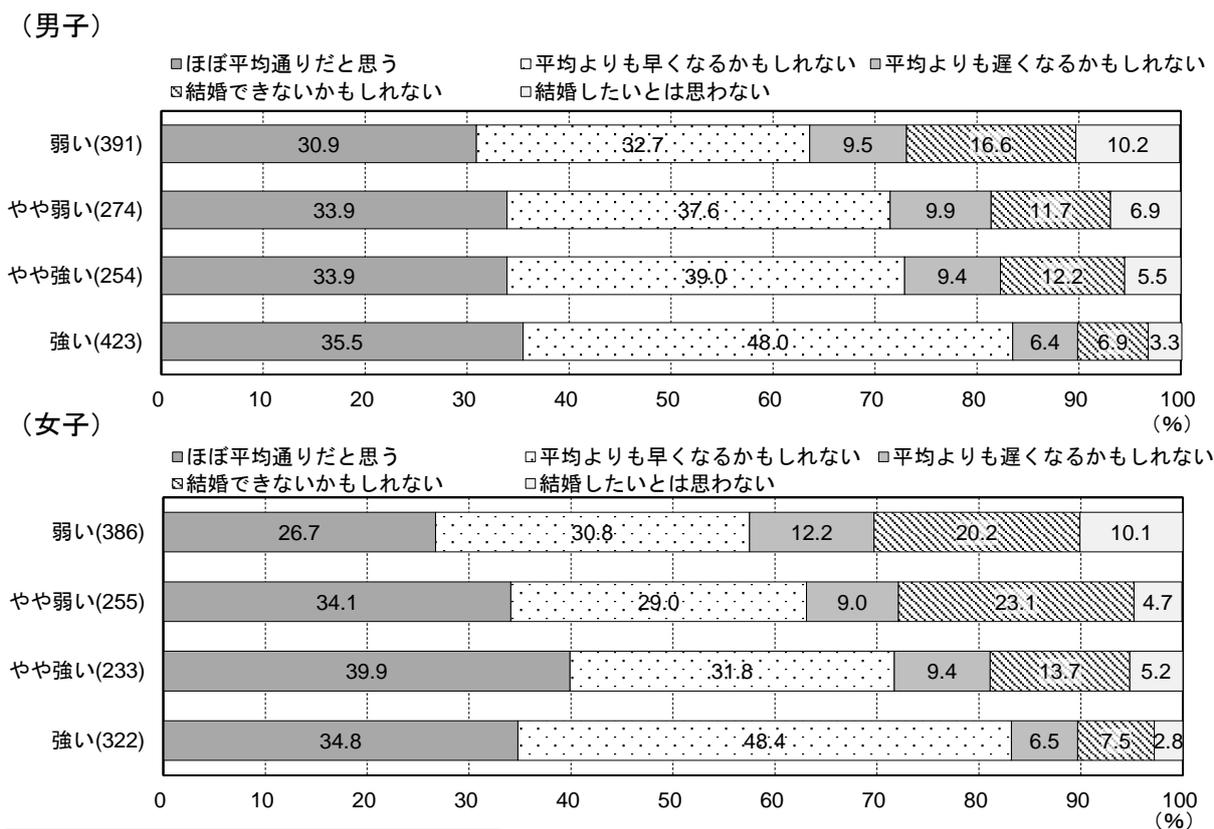
| 性別 | 社会関係性：強 |      |      |      | 社会関係性：弱 |      |      |      | オッズ比 |
|----|---------|------|------|------|---------|------|------|------|------|
|    | N       | 意欲強  | 意欲弱  | オッズ  | N       | 意欲強  | 意欲弱  | オッズ  |      |
| 男子 | 674     | 56.2 | 43.8 | 1.28 | 663     | 41.9 | 58.1 | 0.72 | 1.78 |
| 女子 | 556     | 59.2 | 40.8 | 1.45 | 642     | 51.4 | 48.6 | 1.06 | 1.37 |

### (3) 結婚見通しに対する影響

(社会関係性は結婚の実現支援を期待させる効果を持つ)

社会関係性の強さ別に結婚見通しを集計すると、男女とも、社会関係性が強くなるほど、「平均より結婚が遅くなる」「結婚できないかもしれない」「結婚したいとは思わない」が明らかに減少していく(図IV-14)。

図IV-14 社会関係性の強さ別にみた結婚見通し(単数)



| 項目         | 男      | 女      |
|------------|--------|--------|
| クラメールの連関係数 | 0.1107 | 0.1502 |
| P値         | 0.0000 | 0.0000 |

男子では社会関係性が「強」であると、結婚の見通しについて「平均的・早くなる」の出現率は「弱」の1.9倍となり、女子では2.5倍となる(表IV-7)。結婚意欲に比べて出現率の変化は大きく、社会関係性は結婚意欲の醸成よりも結婚の実現支援を期待させる効果を持つと考えることができる。

表IV-7 社会関係性の強さの結婚見通しに対する影響の強さ

(件、%、倍)

| 性別 | 社会関係性：強 |         |         | 社会関係性：弱 |         |         | オッズ比 |
|----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|------|
|    | N       | 平均的・早まる | 遅くなる・非婚 | N       | 平均的・早まる | 遅くなる・非婚 |      |
| 男子 | 677     | 79.5    | 20.5    | 665     | 66.9    | 33.1    | 1.91 |
| 女子 | 555     | 78.4    | 21.6    | 641     | 59.8    | 40.2    | 2.44 |

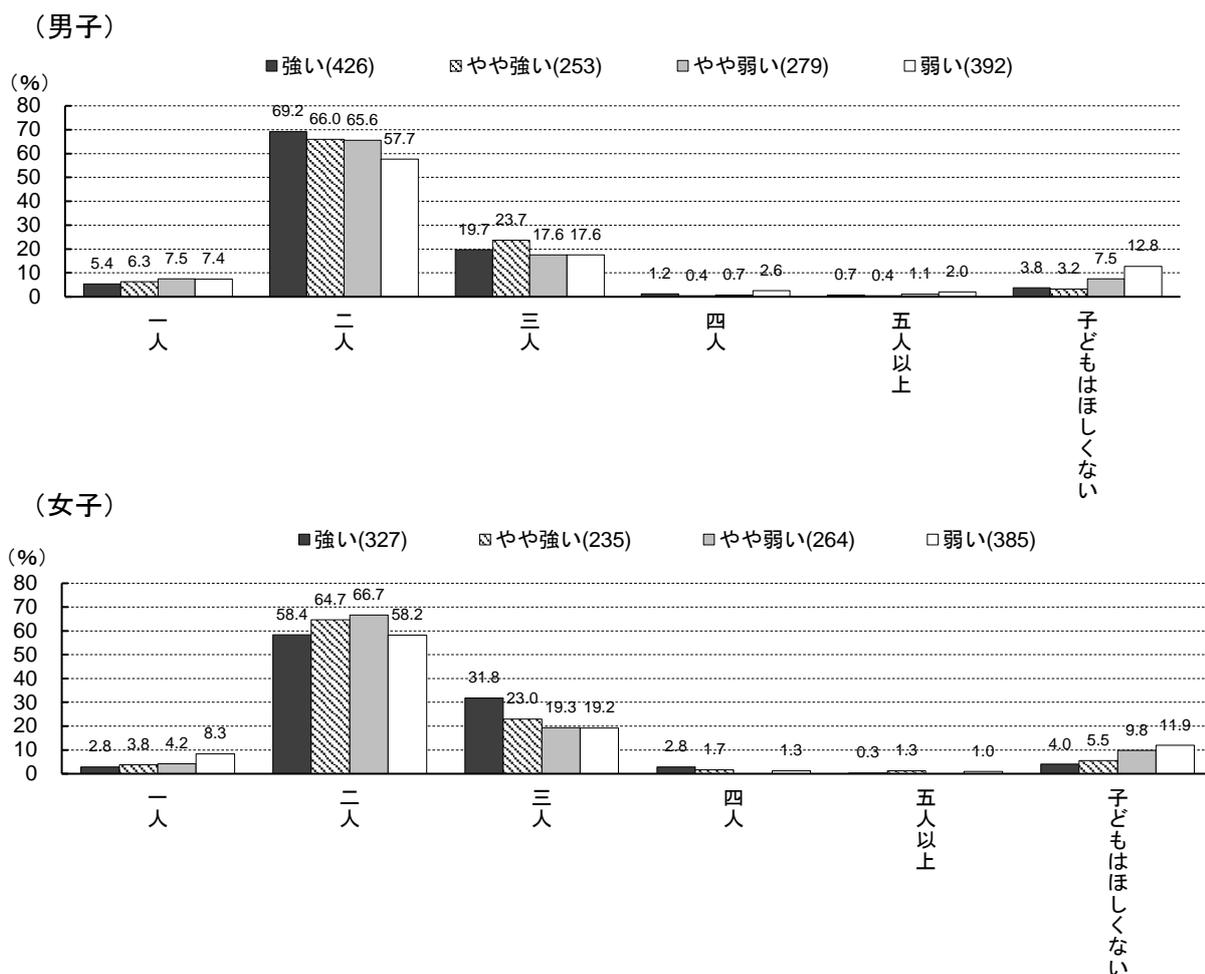
(4) 理想の子ども数に対する影響

(社会関係性は女子の理想の子ども数に強く影響)

次に、社会関係性と理想の子ども数の関係を調べると、男女とも「子どもはほしくない」が、社会関係性が強まると減少するなどの関係がみられる(図IV-15)。

加えて、女子では社会関係性が強まると「三人」が多くなる。このため、女子では、社会関係性の「弱」に対して「強」では「三人以上」の出現率が1.7倍になる(表IV-8)。

図IV-15 社会関係性の強さ別にみた理想の子ども数(単数)



| 項目         | 男      | 女      |
|------------|--------|--------|
| クラメールの連関係数 | 0.1130 | 0.1275 |
| P値         | 0.0000 | 0.0000 |

表IV-8 社会関係性の強さの理想の子ども数に対する影響の強さ

(件、%、倍)

| 性別 | 社会関係性：強 |      |       |      | 社会関係性：弱 |      |       |      | オッズ比 |
|----|---------|------|-------|------|---------|------|-------|------|------|
|    | N       | 三人以上 | なし～二人 | オッズ  | N       | 三人以上 | なし～二人 | オッズ  |      |
| 男子 | 679     | 22.7 | 77.3  | 0.29 | 671     | 21.0 | 79.0  | 0.27 | 1.10 |
| 女子 | 562     | 31.1 | 68.9  | 0.45 | 649     | 20.6 | 79.4  | 0.26 | 1.74 |

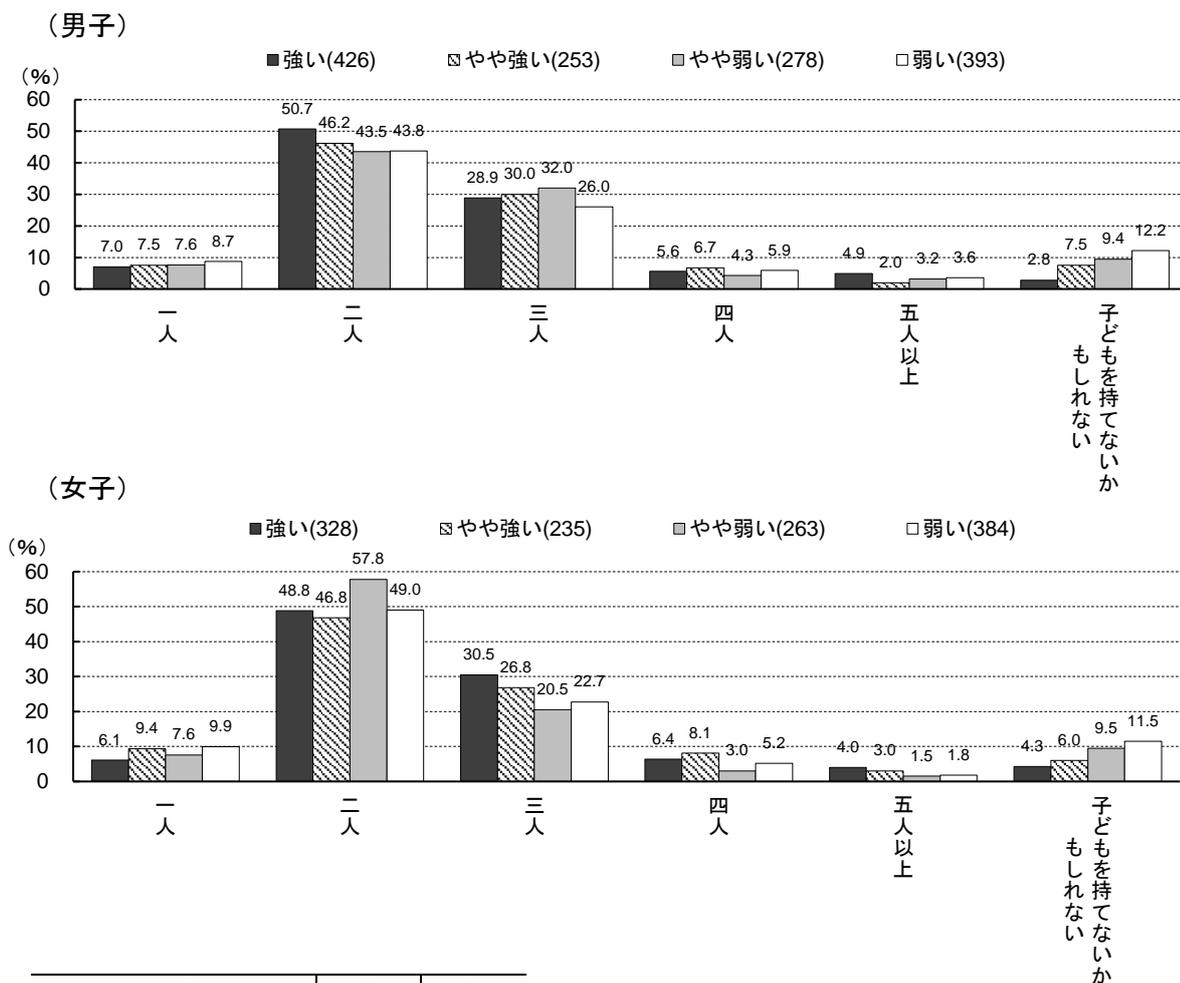
## (5) 現実に持てる子ども数に対する影響

(現実に持てる子ども数に対しても社会関係性は女子で強く影響)

社会関係性と実際に持てる子ども数では、男女とも「子どもを持ってないかもしれない」が、社会関係性が強まると減少する(図IV-16)。

また、理想の子ども数と同様に、女子では社会関係性が強まると「三人」が多くなっている。このため、女子では、社会関係性の「弱」に対して「強」では「三人以上」の出現率が1.7倍になる(表IV-9)。

図IV-16 社会関係性の強さ別にみた現実に持てると思う子ども数(単数)



| 項目         | 男      | 女      |
|------------|--------|--------|
| クラメールの連関係数 | 0.0936 | 0.1032 |
| P値         | 0.0021 | 0.0007 |

表IV-9 社会関係性の強さの実際に持てる子ども数に対する影響の強さ

| 性別 | 社会関係性：強 |      |       |      | 社会関係性：弱 |      |       |      | オッズ比 |
|----|---------|------|-------|------|---------|------|-------|------|------|
|    | N       | 三人以上 | なし～二人 | オッズ  | N       | 三人以上 | なし～二人 | オッズ  |      |
| 男子 | 679     | 39.2 | 60.8  | 0.64 | 671     | 37.1 | 62.9  | 0.59 | 1.09 |
| 女子 | 563     | 39.6 | 60.4  | 0.66 | 647     | 27.8 | 72.2  | 0.39 | 1.70 |

## 5. 家族や子どもに関する価値観・感受性の影響

### (1) 結婚意欲に対する影響

#### ① 家族観

(家族観は高校生に結婚意欲に対して極めて強く影響)

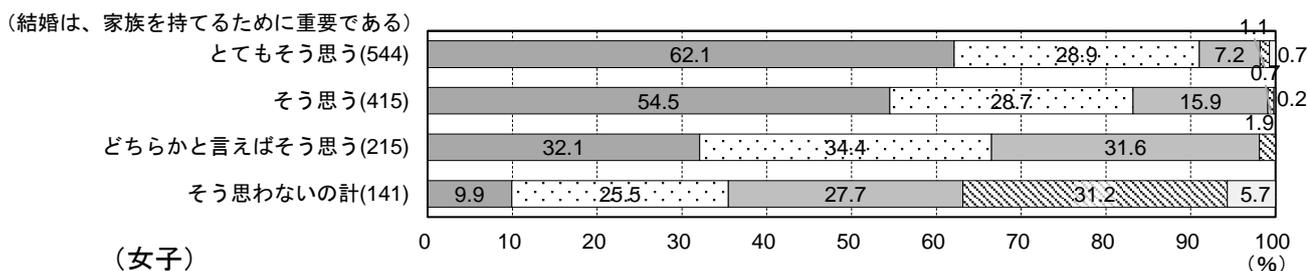
高校生においても「結婚は家族を持てるため重要である」という考えを強く持っている者ほど、結婚意欲が強く表れることは明らかである(図IV-17)。

家族観に対して「積極的肯定」であれば「消極的肯定・否定」に対して「意欲強(年齢志向)」の出現率が男子で4.7倍、女子で4.6倍になる。高校生では「家族観」は結婚意欲に極めて強い影響力を及ぼしている(表IV-10)。

図IV-17 家族観別にみた結婚についての考え(単数)

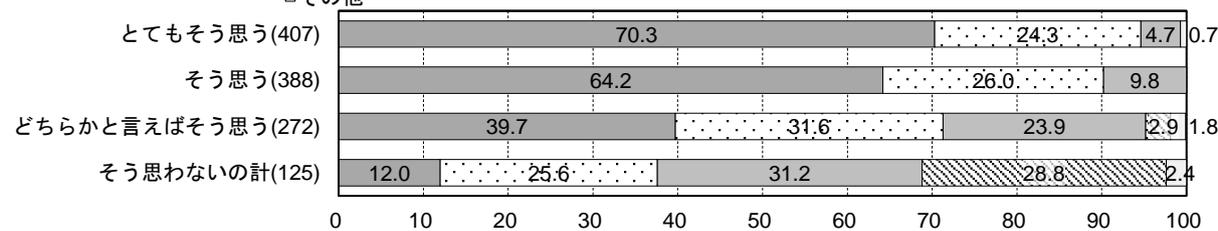
(男子)

- ある程度の年齢までに結婚したい
- 年齢に関係なく、結婚したいと思う相手が見つければ結婚したい
- ▨ 相手が見つかったも、仕事や自分の生き方と両立できないなら、すぐに結婚したいとは思わない
- ▩ 一生、結婚したいとは思わない
- その他



(女子)

- ある程度の年齢までに結婚したい
- 年齢に関係なく、結婚したいと思う相手が見つければ結婚したい
- ▨ 相手が見つかったも、仕事や自分の生き方と両立できないなら、すぐに結婚したいとは思わない
- ▩ 一生、結婚したいとは思わない
- その他



| 項目         | 男      | 女      | (%) |
|------------|--------|--------|-----|
| クラメールの連関係数 | 0.3352 | 0.3417 |     |
| P値         | 0.0000 | 0.0000 |     |

(注)「そう思わないの計」は、「どちらかと言えばそう思わない」「そう思わない」「まったくそう思わない」の合計である

表IV-10 家族観の結婚意欲に対する影響の強さ

(件、%、倍)

| 性別 | 家族観：積極的肯定 |      |      | 家族観：消極的肯定・否定 |     |      | オッズ比 |      |      |
|----|-----------|------|------|--------------|-----|------|------|------|------|
|    | N         | 意欲強  | 意欲弱  | オッズ          | N   | 意欲強  |      | 意欲弱  | オッズ  |
| 男子 | 959       | 58.8 | 41.2 | 1.43         | 356 | 23.3 | 76.7 | 0.30 | 4.70 |
| 女子 | 795       | 67.3 | 32.7 | 2.06         | 397 | 31.0 | 69.0 | 0.45 | 4.58 |

## ②家族に対する感受性

### (家族に対する感受性も高校生の結婚意欲にかなり強く影響)

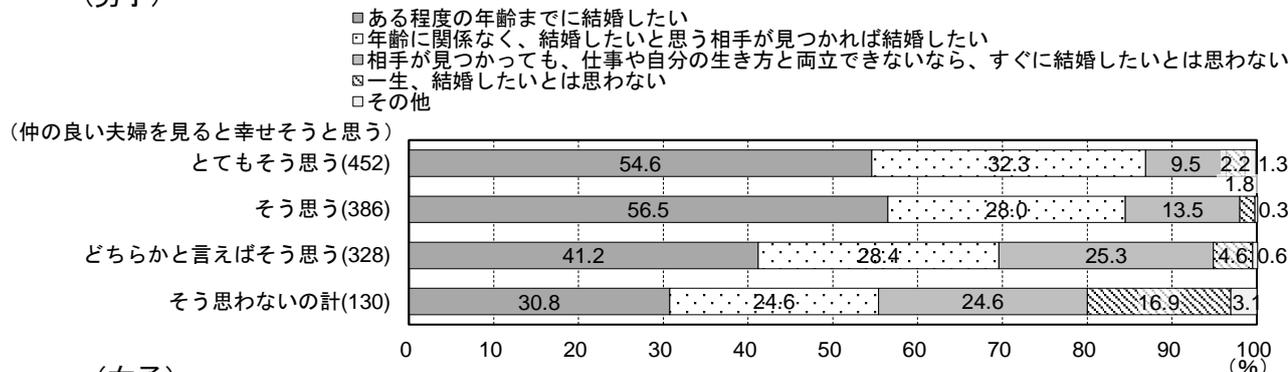
「仲の良い夫婦を見ると幸せそうと思う(家族に対する感受性)」かどうかと結婚意欲の関係を調べると、家族観ほどではないものの、家族に対する感受性が強いほど結婚意欲も強くなる傾向がみられる(図IV-18)。

「とてもそう思う」では結婚の年齢志向が男子55%、女子61%である。「どちらかと言えばそう思う」では、「相手が見つかったら、仕事や自分の生き方と両立できたら、すぐに結婚したいとは思わない」が、男子25%、女子23%に増加する。

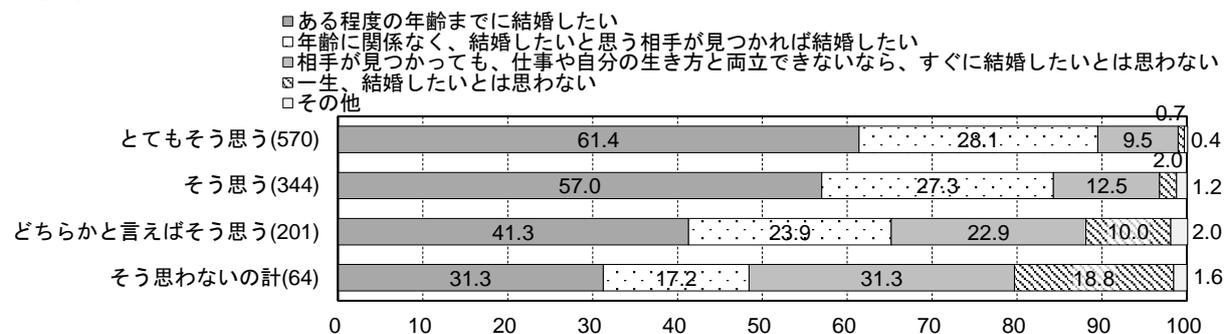
家族に対する感受性の結婚意欲に対する影響力の強さをみると、「消極的肯定・否定」に対して「積極的肯定」では、「意欲強」の出現率が男子2.0倍、女子で2.3倍になる(表IV-11)。

図IV-18 家族に対する感受性別にみた結婚についての考え(単数)

(男子)



(女子)



| 項目         | 男      | 女      | (%) |
|------------|--------|--------|-----|
| クラメールの連関係数 | 0.1950 | 0.2181 |     |
| P値         | 0.0000 | 0.0000 |     |

(注)「そう思わないの計」は、「どちらかと言えばそう思わない」「そう思わない」「まったくそう思わない」の合計である

表IV-11 家族に対する感受性の結婚意欲への影響の強さ

(件、%、倍)

| 性別 | 家族に対する感受性：積極的肯定 |      |      | 家族に対する感受性：消極的肯定・否定 |     |      | オッズ比 |      |      |
|----|-----------------|------|------|--------------------|-----|------|------|------|------|
|    | N               | 意欲強  | 意欲弱  | オッズ                | N   | 意欲強  |      | 意欲弱  | オッズ  |
| 男子 | 838             | 55.5 | 44.5 | 1.25               | 458 | 38.2 | 61.8 | 0.62 | 2.02 |
| 女子 | 914             | 59.7 | 40.3 | 1.48               | 265 | 38.9 | 61.1 | 0.64 | 2.33 |

(2) 理想の子ども数に対する影響

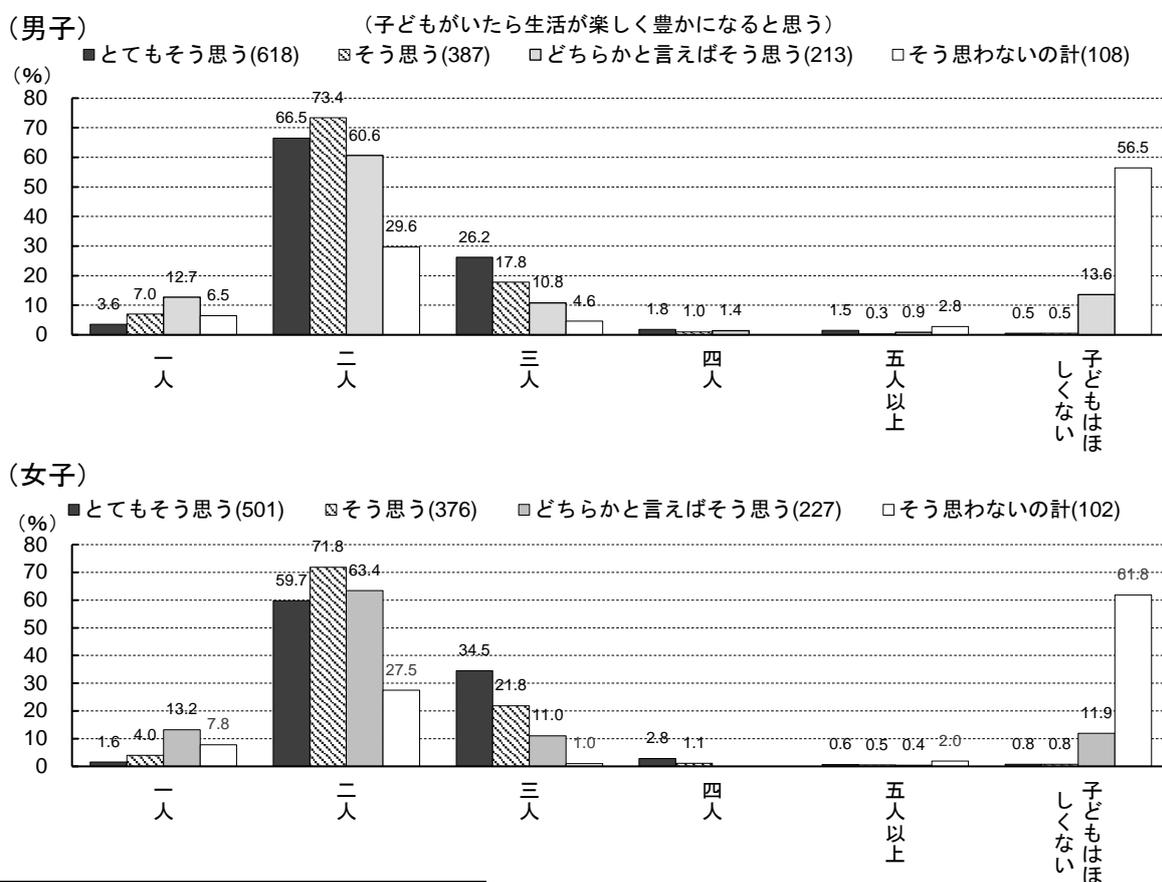
①子ども観

(子ども観は女子の理想の子ども数に対して極めて強く影響)

「子どもがいたら生活が楽しく豊かになる」という子ども観が強いほど、男女ともに「二人」や「三人」が増加する傾向が明らかである。(図IV-19)。

子ども観の理想の子ども数に対する影響力をみると、子ども観について「積極的肯定」であると、「消極的肯定・否定」に対して「三人以上」の出現率が男子2.7倍、女子で4.8倍と算出された(表IV-12)。特に女子では5倍に近く、極めて強い影響力を及ぼしている。

図IV-19 子ども観別にみた理想の子ども数(単数)



| 項目         | 男      | 女      |
|------------|--------|--------|
| クラメールの連関係数 | 0.2898 | 0.3291 |
| P値         | 0.0000 | 0.0000 |

(注)「そう思わないの計」は、「どちらかと言えばそう思わない」「そう思わない」「まったくそう思わない」の合計である

表IV-12 子ども観の理想の子ども数に対する影響の強さ

(件、%、倍)

| 性別 | 子ども観：積極的肯定 |      |       |      | 子ども観：消極的肯定・否定 |      |       |      | オッズ比 |
|----|------------|------|-------|------|---------------|------|-------|------|------|
|    | N          | 三人以上 | なし～二人 | オッズ  | N             | 三人以上 | なし～二人 | オッズ  |      |
| 男子 | 1005       | 25.5 | 74.5  | 0.34 | 321           | 11.2 | 88.8  | 0.13 | 2.71 |
| 女子 | 877        | 31.7 | 68.3  | 0.46 | 329           | 8.8  | 91.2  | 0.10 | 4.80 |

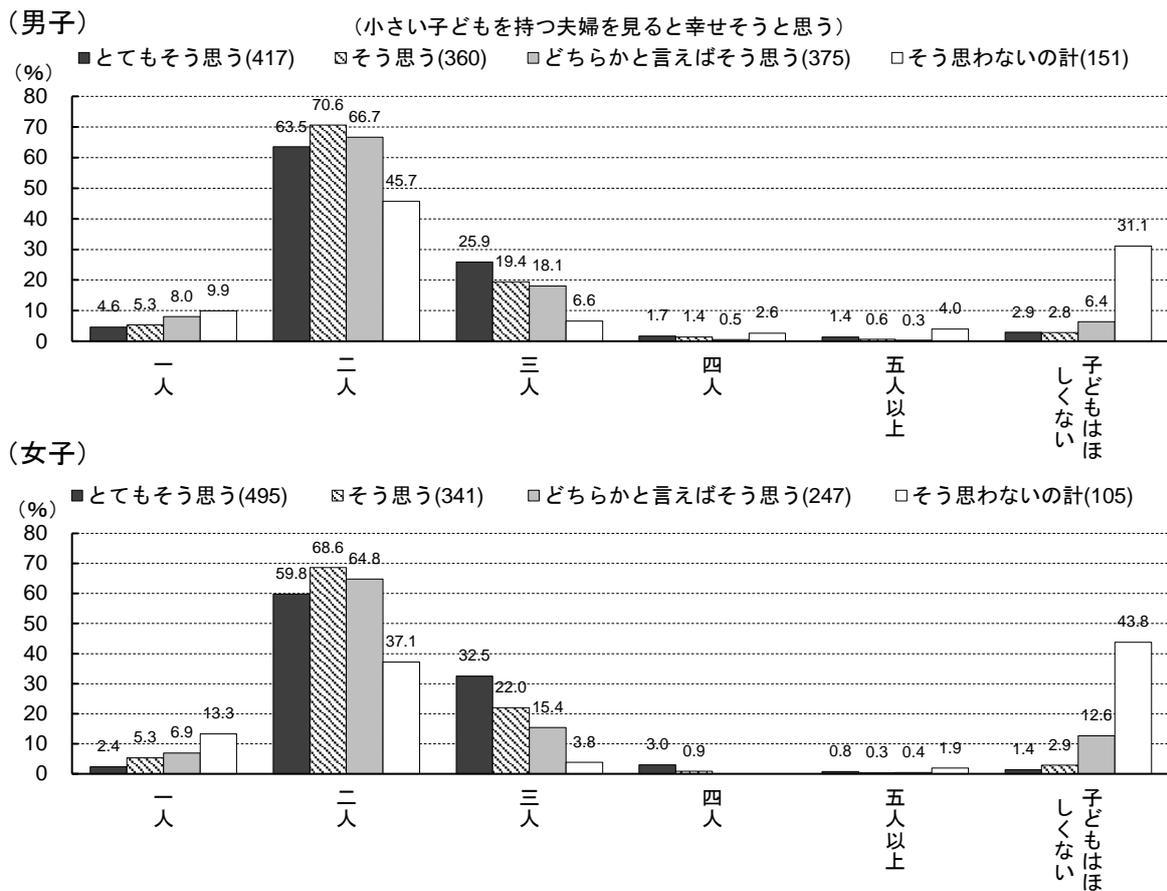
## ②子どもに対する感受性

(子どもに対する感受性も女子の理想の子ども数に対して極めて強く影響)

「小さい子どもを持つ夫婦を見ると幸せそうと思う」という子どもに対する感受性が強いほど、男女とも「三人」が増加し、「一人」と「子どもをほしくない」が減少する(図IV-20)。

理想の子ども数に対する影響力をみると、子どもに対する感受性について「積極的肯定」であると、「消極的肯定・否定」に対して「三人以上」の出現率が男子では1.6倍であるが、女子では3.1倍となり、極めて強い影響力を及ぼしている(表IV-13)。

図IV-20 子どもに対する感受性別にみた理想の子ども数(単数)



| 項目         | 男      | 女      |
|------------|--------|--------|
| クラメールの連関係数 | 0.1914 | 0.2459 |
| P値         | 0.0000 | 0.0000 |

(注)「そう思わないの計」は、「どちらかと言えばそう思わない」「そう思わない」「まったくそう思わない」の合計である

表IV-13 子どもに対する感受性の理想の子ども数への影響の強さ

(件、%、倍)

| 性別 | 子どもに対する感受性：積極的肯定 |      |       |      | 子どもに対する感受性：消極的肯定・否定 |      |       |      | オッズ比 |
|----|------------------|------|-------|------|---------------------|------|-------|------|------|
|    | N                | 三人以上 | なし～二人 | オッズ  | N                   | 三人以上 | なし～二人 | オッズ  |      |
| 男子 | 777              | 25.5 | 74.5  | 0.34 | 526                 | 17.3 | 82.7  | 0.21 | 1.63 |
| 女子 | 836              | 31.0 | 69.0  | 0.45 | 352                 | 12.8 | 87.2  | 0.15 | 3.06 |

### (3) 家族や子どもに対する感受性に影響を及ぼす要因

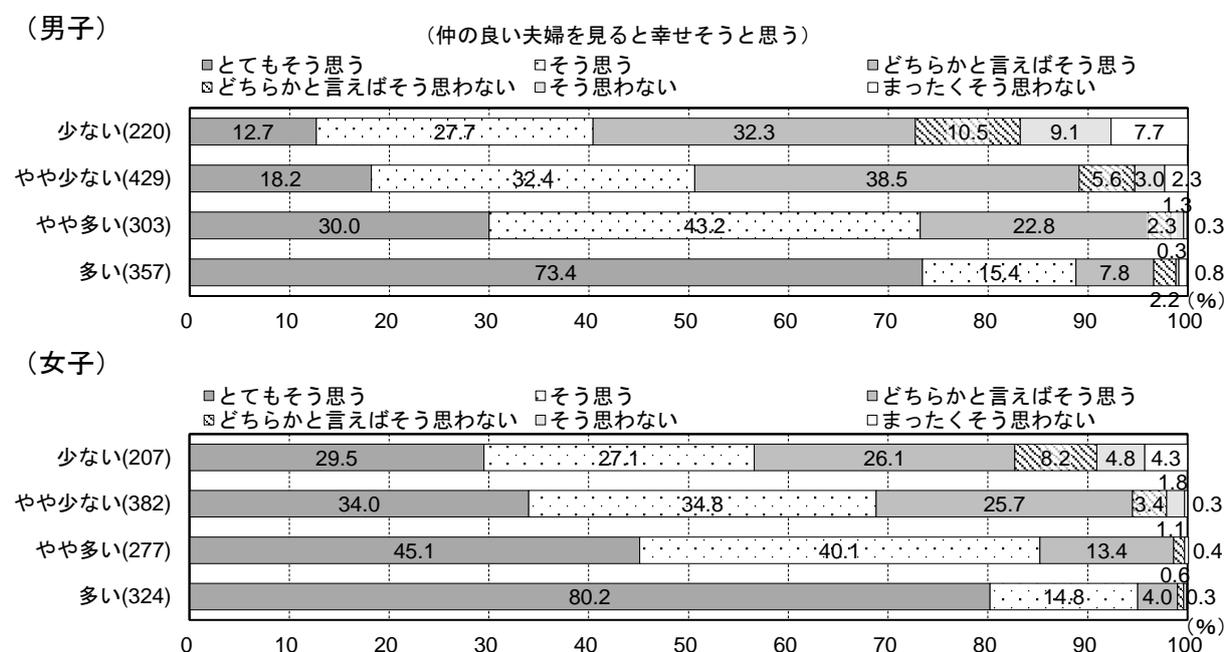
#### ① 家族に対する感受性への「家族経験」の影響

（「家族経験」は高校生の家族に対する感受性に極めて強く影響）

調査では、「両親や親せきに仲の良い夫婦がいる」、「友人の両親や知人に仲の良い夫婦がいる」の二つの質問により、仲の良い家族とふれ合った経験の程度を尋ねた。得られた回答を点数化し、主成分分析により指標「家族経験」を作成した。作成した指標を-1、0、1で区切り、高校生の家族経験の程度を四つに区分した。

家族経験が「少ない」では「仲の良い夫婦を見ると幸せそうと思う（家族に対する感受性）」について「そう思う」は13%であるが、「多い」では73%に達する（図IV-21）。高校生の結婚意欲に強い影響を与えていた家族に対する感受性は、家族経験によって大きく変化することがわかる。

図IV-21 家族経験別にみた家族に対する感受性（単数）



| 項目         | 男      | 女      |
|------------|--------|--------|
| クラメールの連関係数 | 0.3346 | 0.2819 |
| P値         | 0.0000 | 0.0000 |

「家族経験」の「やや多い」と「多い」を、「多い」にまとめ直し、それ以外を「少ない」とすると、家族経験が「多い」と、「少ない」に比べ家族に対する感受性の「積極的肯定」の出現率は、男子5.0倍、女子5.3倍になり、極めて強い影響力を及ぼしている（表IV-14）。

表IV-14 家族経験の家族に対する感受性への影響の強さ

(件、%、倍)

| 性別 | 家族経験：多い |       |          |      | 家族経験：少ない |       |          |      | オッズ比 |
|----|---------|-------|----------|------|----------|-------|----------|------|------|
|    | N       | 積極的肯定 | 消極的肯定・否定 | オッズ  | N        | 積極的肯定 | 消極的肯定・否定 | オッズ  |      |
| 男子 | 660     | 81.7  | 18.3     | 4.45 | 649      | 47.1  | 52.9     | 0.89 | 4.99 |
| 女子 | 601     | 90.5  | 9.5      | 9.54 | 589      | 64.5  | 35.5     | 1.82 | 5.25 |

②子どもに対する感受性への「子ども経験」の影響

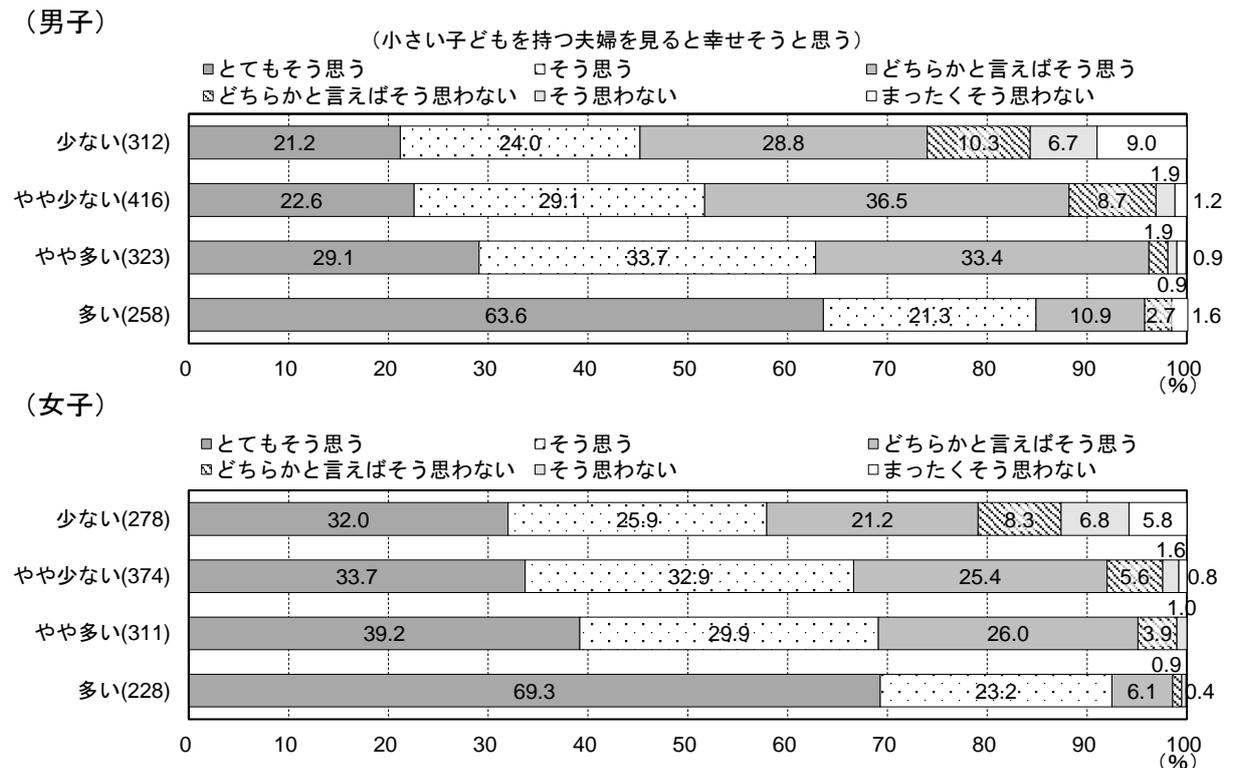
（「子ども経験」も高校生の子どもに対する感受性に強い影響力を持つ）

「小さい子どもとふれ合う機会がよくある」、「身近に三人以上子どもを持つ夫婦が多い」の二つの質問により、「子ども経験」の程度を把握した。「家族経験」と同じように、得られた回答を点数化し、主成分分析により指標「子ども経験」を作成した。

女子の理想の子ども数に対して極めて強い影響を及ぼしていた子どもに対する感受性と、子ども経験との間に明確な相関が表れる（図IV-22）。

また、子ども経験の「やや多い」と「多い」を、「多い」にまとめ直し、それ以外を「少ない」にすると、子ども経験が「多い」と、「少ない」に比べて子どもに対する感受性の「積極的肯定」の出現率は男子 2.8 倍、女子 2.2 倍になる。家族経験の家族に対する感受性への影響ほどでないものの、子ども経験は高校生の子どもに対する感受性に対して強く影響を及ぼしている（表IV-15）。

図IV-22 子ども経験別にみた子どもに対する感受性（単数）



| 項目         | 男      | 女      |
|------------|--------|--------|
| クラメールの連関係数 | 0.2582 | 0.2221 |
| P値         | 0.0000 | 0.0000 |

表IV-15 子ども経験の子どもに対する感受性への影響の強さ

(件、%、倍)

| 性別 | 子ども経験：多い |       |          |      | 子ども経験：少ない |       |          |      | オッズ比 |
|----|----------|-------|----------|------|-----------|-------|----------|------|------|
|    | N        | 積極的肯定 | 消極的肯定・否定 | オッズ  | N         | 積極的肯定 | 消極的肯定・否定 | オッズ  |      |
| 男子 | 581      | 72.6  | 27.4     | 2.65 | 728       | 48.9  | 51.1     | 0.96 | 2.77 |
| 女子 | 539      | 79.0  | 21.0     | 3.77 | 652       | 62.9  | 37.1     | 1.69 | 2.23 |

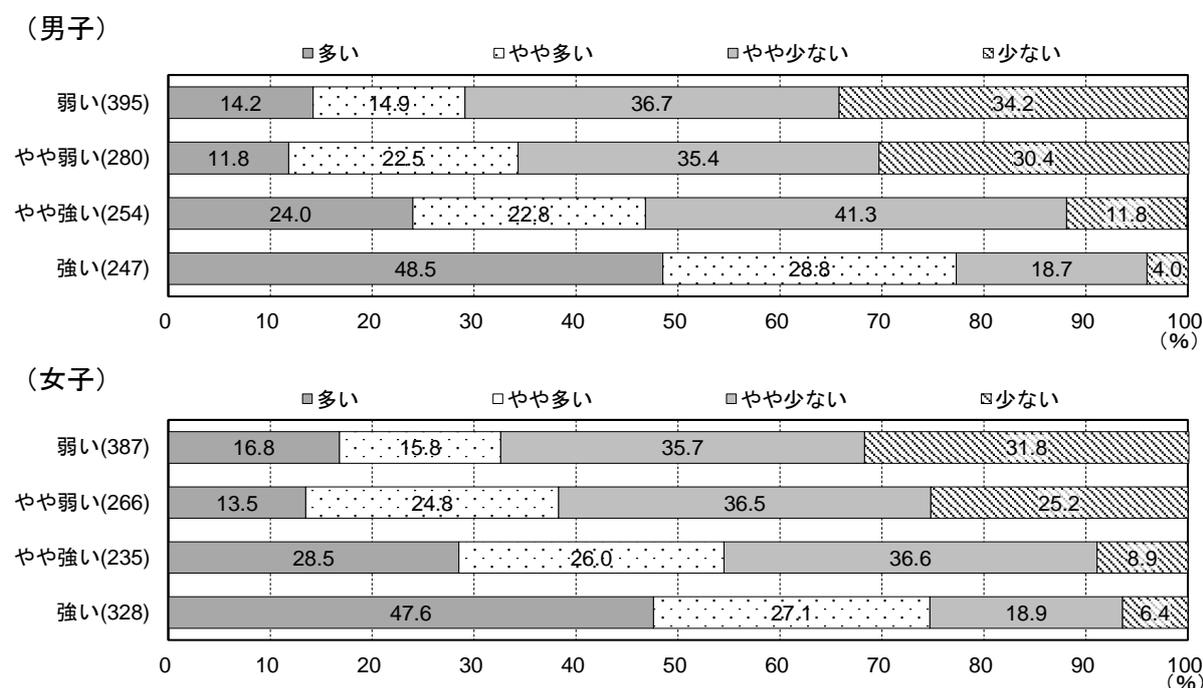
③社会関係性の「家族経験」や「子ども経験」に対する影響

「家族経験」と「子ども経験」が、それぞれ家族や子どもに対する感受性に影響を及ぼしていることは自然な結果と考えられるが、加えて、以下の分析によると、その「家族経験」や「子ども経験」は高校生が暮らしている地域の社会関係性に強い影響を受けている。

(社会関係性は「家族経験」に極めて強く影響する)

高校生が有する社会関係性の程度を分析軸にして家族経験とクロス集計を行うと、社会関係性が「弱い」と家族経験の「多い」は男子 14%、女子 17%に過ぎないが、社会関係性が「強い」と家族経験の「多い」は男子 49%、女子 48%に増加する (図IV-23)。

図IV-23 社会関係性の強さ別にみた家族経験 (単数)



| 項目         | 男      | 女      |
|------------|--------|--------|
| クラメールの連関係数 | 0.2701 | 0.2335 |
| P値         | 0.0000 | 0.0000 |

社会関係性は強い・弱い、家族経験は多い・少ないの二区分にして、社会関係性の家族経験への影響の強さを算出すると、社会関係性が「強い」と、「弱い」に比べて家族経験の「多い」の出現率は男子 4.3 倍、女子 3.7 倍に上る。家族経験に対して社会関係性が極めて強い影響を及ぼしている (表IV-16)。

表IV-16 社会関係性の強さの家族経験に対する影響の強さ

(件、%、倍)

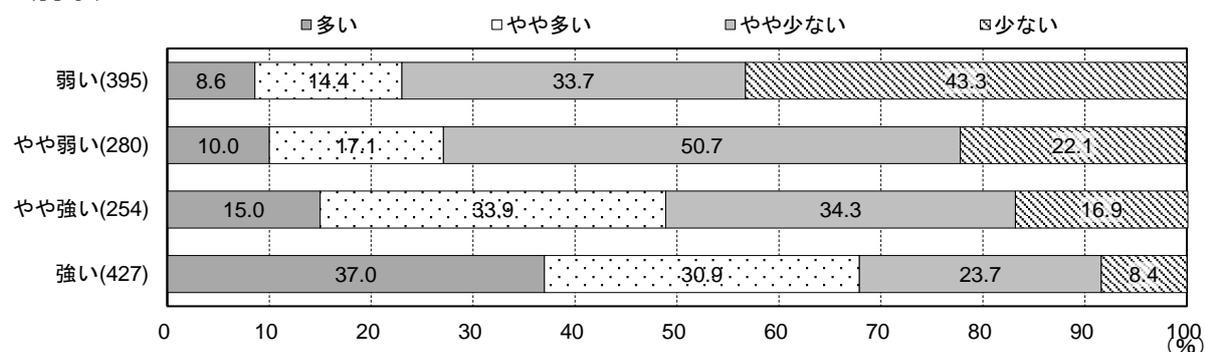
| 性別 | 社会関係性：強 |         |          |      | 社会関係性：弱 |         |          |      | オッズ比 |
|----|---------|---------|----------|------|---------|---------|----------|------|------|
|    | N       | 家族経験：多い | 家族経験：少ない | オッズ  | N       | 家族経験：多い | 家族経験：少ない | オッズ  |      |
| 男子 | 681     | 65.9    | 34.1     | 1.94 | 675     | 31.3    | 68.7     | 0.45 | 4.26 |
| 女子 | 563     | 66.3    | 33.7     | 1.96 | 653     | 34.9    | 65.1     | 0.54 | 3.66 |

(社会関係性は子ども経験に対しても極めて強く影響)

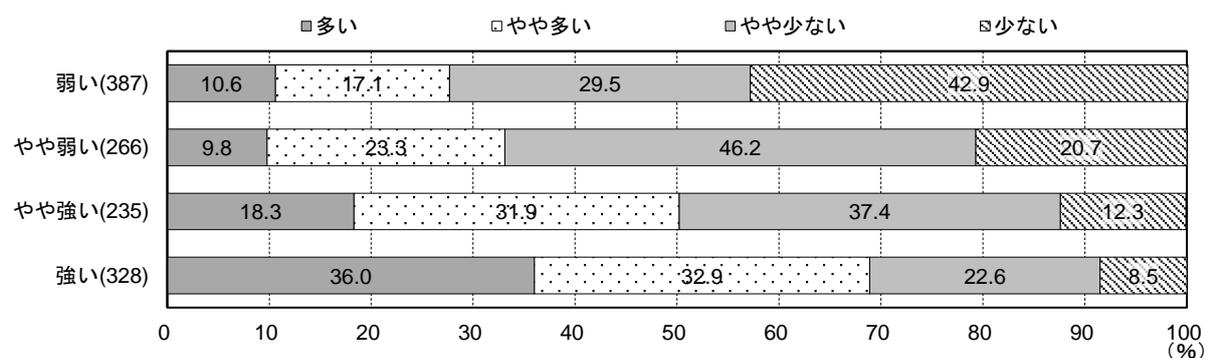
社会関係性と「子ども経験」のクロス集計では、社会関係性が「弱い」と「子ども経験」の「多い」は男子9%、女子11%に過ぎないが、社会関係性が「強い」と「子ども経験」の「多い」は男子37%、女子36%に増加する(図IV-24)。

図IV-24 社会関係性の強さ別にみた子ども経験

(男子)



(女子)



| 項目         | 男      | 女      |
|------------|--------|--------|
| クラメールの連関係数 | 0.2713 | 0.2546 |
| P値         | 0.0000 | 0.0000 |

社会関係性は強い・弱い、子ども経験は多い・少ないの二区分にして、社会関係性の子ども経験への影響の強さを測ると、社会関係性が「強い」と、子ども経験の「多い」の出現率は男子4.7倍、女子3.7倍に達し、家族経験と同様、子ども経験に対しても社会関係性は極めて強い影響を及ぼしている(表IV-17)。

表IV-17 社会関係性の強さの子ども経験に対する影響の強さ

(件、%、倍)

| 性別 | 社会関係性：強 |          |           |      | 社会関係性：弱 |          |           |      | オッズ比 |
|----|---------|----------|-----------|------|---------|----------|-----------|------|------|
|    | N       | 子ども経験：多い | 子ども経験：少ない | オッズ  | N       | 子ども経験：多い | 子ども経験：少ない | オッズ  |      |
| 男子 | 681     | 60.8     | 39.2      | 1.55 | 675     | 24.7     | 75.3      | 0.33 | 4.72 |
| 女子 | 563     | 61.1     | 38.9      | 1.57 | 653     | 29.9     | 70.1      | 0.43 | 3.69 |

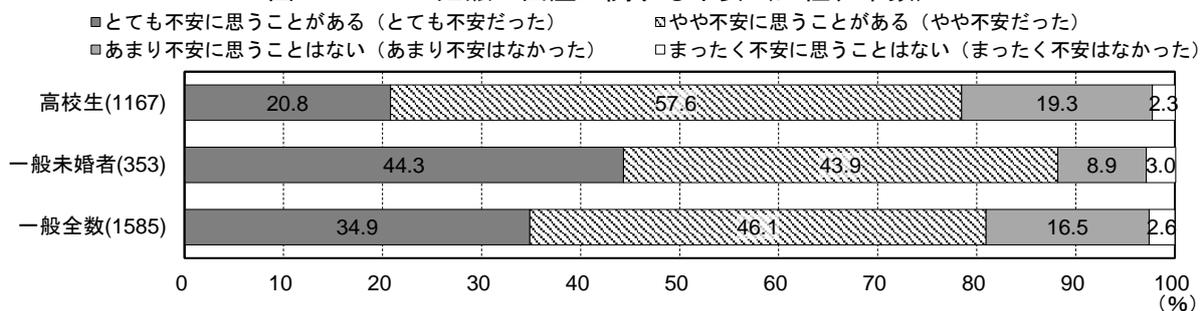
## 6. 妊娠・出産に関わる不安の影響

### (1) 妊娠・出産に関わる不安

(女子の80%近くが何らかの不安を持っている)

身体への影響や医学面で妊娠・出産について不安に思うことがあるか女子に尋ねたところ、「とても不安に思うことがある」は21%であり、一般未婚者や一般全数に比べて少なくなっている(図IV-25)。ただし、「やや不安に思うことがある」は58%に上り、「不安に思うことがある」と合計すると一般全数とほぼ同じになる。一般全数に対して「やや不安」にとどまっている者が多い。

図IV-25 妊娠・出産に関する不安(女性、単数)



(注) それぞれ、県民局別の県立高校生数(二年生・三年生)、20-49歳未婚者人口、20-49歳人口によるウエイトバック集計である

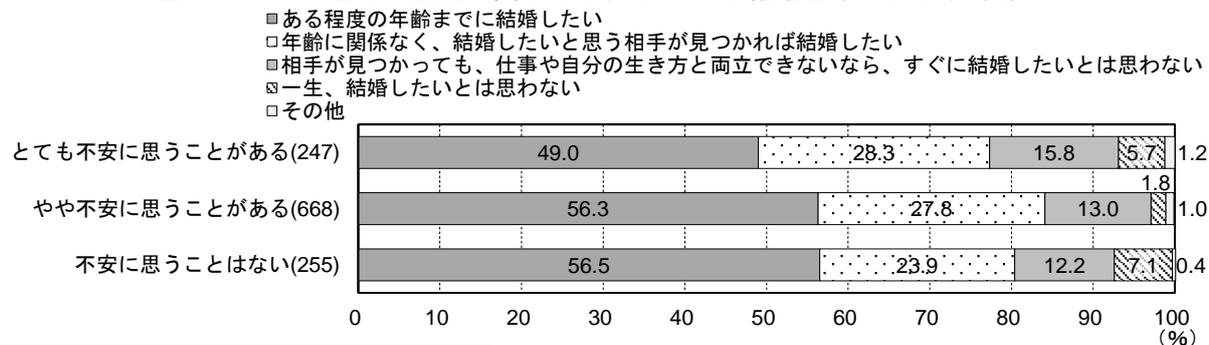
### (2) 妊娠・出産に関する不安が及ぼす影響

#### ①結婚意欲に対する影響

(不安が強くなるほど結婚意欲はやや弱くなる)

「まったく不安に思うことはない」を「あまり不安に思うことはない」を一つにして「不安に思うことはない」というグループを作成した。その上で、妊娠・出産に関する不安の程度を分析軸にして女子の結婚意欲の集計を行った。結果、緩やかであるものの、不安が強くなるほど結婚の年齢志向が少なくなる傾向がみられる(図IV-26)。

図IV-26 妊娠・出産に関する不安別にみた結婚意欲(女子、単数)



|            |        |
|------------|--------|
| クラメールの連関係数 | 0.0976 |
| P値         | 0.0044 |

不安の程度を「とても不安」と「やや不安・不安なし」の二区分にして、妊娠・出産に関する不安が結婚意欲に及ぼす影響の強さを算出した。「とても不安」が「やや不安・不安なし」になると「意欲強（年齢志向）」の出現率は1.3倍となる（表IV-18）。

表IV-18 妊娠・出産に関する不安の結婚意欲に対する影響の強さ（女子）

(件、%、倍)

| 妊娠・出産に関する不安：<br>やや不安・不安なし |      |      |      | 妊娠・出産に関する不安：<br>とても不安 |      |      |      | オッズ比 |
|---------------------------|------|------|------|-----------------------|------|------|------|------|
| N                         | 意欲強  | 意欲弱  | オッズ  | N                     | 意欲強  | 意欲弱  | オッズ  |      |
| 923                       | 56.3 | 43.7 | 1.29 | 247                   | 49.0 | 51.0 | 0.96 | 1.34 |

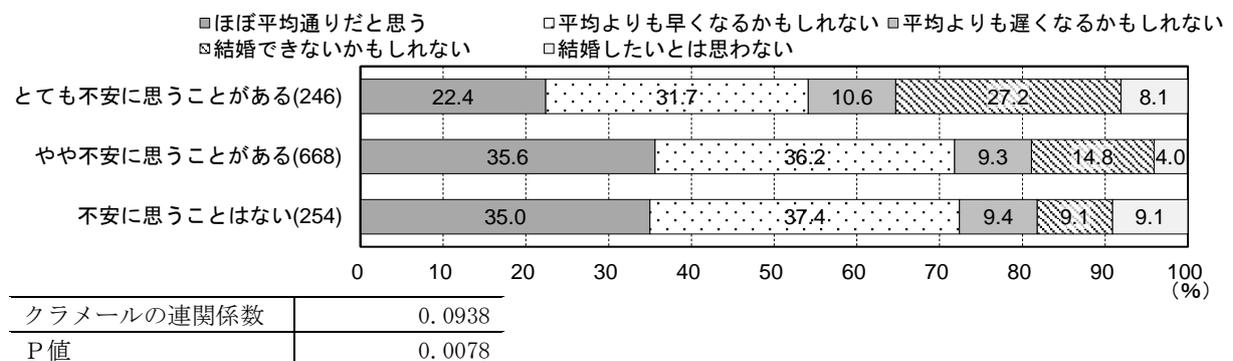
## ②結婚見通しに対する影響

(妊娠・出産に対する不安は結婚意欲より結婚の実現見通しに強く影響する)

妊娠・出産に関する不安の程度が増すにつれて、女子の結婚見通しのうち「結婚できないかもしれない」が増加することが明らかである（図IV-27）。「とても不安に思うことがある」では「結婚できないかもしれない」は27%に上り、「ほぼ平均通り」は22%にとどまる。

「やや不安・不安なし」であると、「とても不安」に対して結婚見通しの「平均的・平均より早まる」の出現率は2.2倍になると算出される。妊娠・出産に関する不安感は、女子の結婚見通しに対してかなり強い影響力を及ぼしている（表IV-19）。

図IV-27 妊娠・出産に関する不安別にみた結婚見通し（女子、単数）



表IV-19 妊娠・出産に関する不安の結婚見通しに対する影響の強さ（女子）

(件、%、倍)

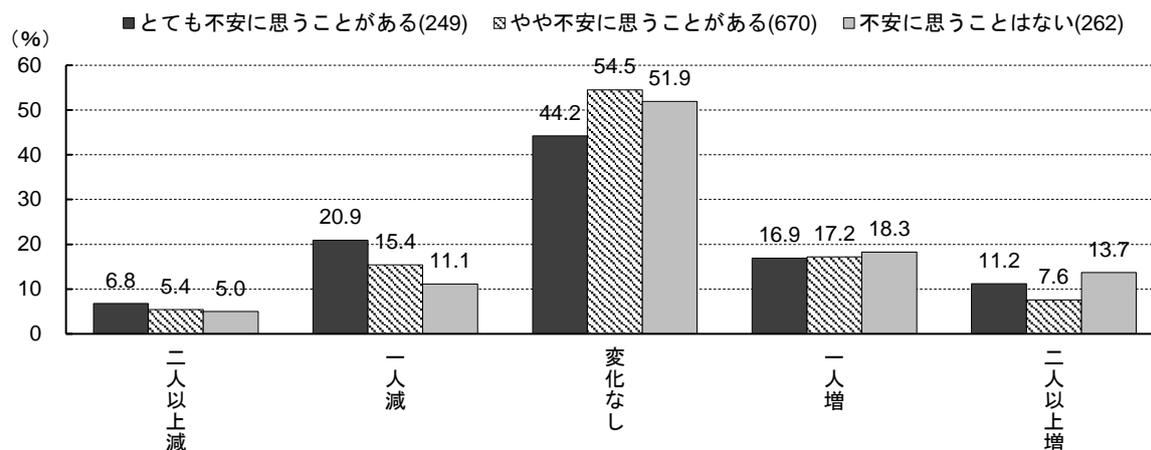
| 妊娠・出産に関する不安：<br>やや不安・不安なし |         |         |      | 妊娠・出産に関する不安：<br>とても不安 |         |         |      | オッズ比 |
|---------------------------|---------|---------|------|-----------------------|---------|---------|------|------|
| N                         | 平均的・早まる | 遅くなる・非婚 | オッズ  | N                     | 平均的・早まる | 遅くなる・非婚 | オッズ  |      |
| 922                       | 72.0    | 28.0    | 2.57 | 246                   | 54.1    | 45.9    | 1.18 | 2.19 |

③現実に持てる子ども数に対する影響

(妊娠・出産に関する不安は子ども数の理想と現実の差に対して強い影響を与える)

「現実に持てる子ども数と理想の子ども数の差」に対して、妊娠・出産に関する不安がどのように関係するかをみると、不安の程度が強まると「一人減」が増える傾向が明らかである。「とても不安」では「一人減」が21%になる(図IV-28)。

図IV-28 妊娠・出産に関する不安別にみた理想の子ども数と現実に持てる子ども数との差(女子)



|            |        |
|------------|--------|
| クラメールの連関係数 | 0.0848 |
| P値         | 0.0127 |

「とても不安」であると、「やや不安・不安なし」に対して、現実に持てる子ども数と理想数の差の「変化なし・増加」の出現率は1.6倍となる。妊娠・出産に関する不安は、子ども数の理想と現実の差に対してやや強い影響力を持つとみられるものの、結婚の実現見通しへの影響力の方が強く表れている(表IV-20)。

表IV-20 妊娠・出産に関する不安の理想の子ども数と現実に持てる子ども数との差に対する影響の強さ(女子)  
(件、%、倍)

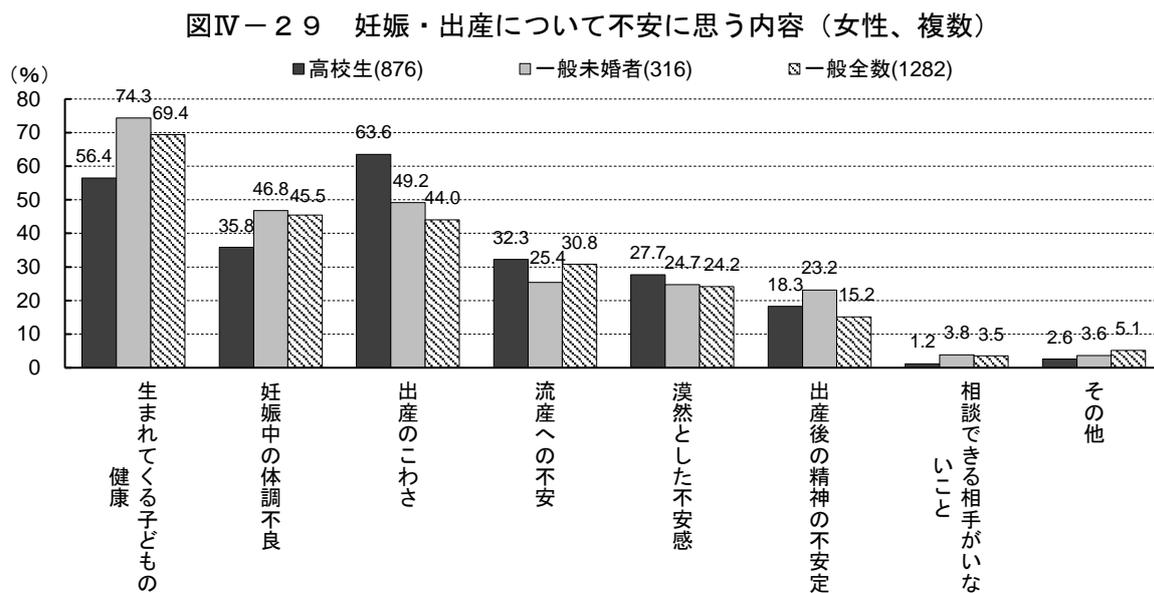
| 妊娠・出産に関する不安：やや不安・不安なし |         |      |      | 妊娠・出産に関する不安：とても不安 |         |      |      | オッズ比 |
|-----------------------|---------|------|------|-------------------|---------|------|------|------|
| N                     | 変化なし・増加 | 減少   | オッズ  | N                 | 変化なし・増加 | 減少   | オッズ  |      |
| 932                   | 80.6    | 19.4 | 4.15 | 249               | 72.3    | 27.7 | 2.61 | 1.59 |

### (3) 妊娠・出産に関する不安の内容

#### 「出産のこわさ」が最も不安

妊娠・出産に関する不安の内容について高校生の特徴をみると、一般未婚者や一般全数に比較して「出産のこわさ」が64%と多くなっている（図IV-29）。

一方、「生まれてくる子どもの健康」や「妊娠中の体調不良」は、一般未婚者や一般全数よりも少ない。



(注) それぞれ、県民局別の県立高校生数（二年生・三年生）、20-49歳未婚者人口、20-49歳人口によるウェイトバック集計である